

平成 24 年

# 消防年報

(平成 25 年 刊 行)



毎月1日は「市民防災の日」です

直方市消防本部

# は し が き

この年報は、直方市消防本部の現勢及び消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお資料中の数値にあつては、総務編及び予防編では平成24年度(4月～翌年3月)あるいは平成25年4月1日現在のものを、警防編では平成24年中(1月～12月)のものを示しております。

平成 25 年 5月  
直方市消防本部

## 目 次

### 直方市の消防

直方市の概況 .....	1
直方市消防の沿革 .....	2
直方市消防本部・消防署の組織 .....	8
直方市消防本部事務分掌 .....	9

### 総 務

#### 消防本部・消防署

消防本部・消防署の位置及び管轄区域 .....	12
消防庁舎 .....	12

#### 消防力の基準

消防力の基準と現有消防力 .....	12
--------------------	----

#### 消防決算

消防費予算額 .....	12
人口・世帯数当りの消防費所要額 .....	12

#### 消防職員

職員の実員 .....	13
職員の配置状況 .....	13
平成24年度の採用と退職 .....	13
職員の勤続年数 .....	13
職員の年齢 .....	13
平成24年度職員の研修 .....	14
平成24年度職員の表彰 .....	14

#### 消防団員

消防団員の数 .....	15
消防団員の年齢 .....	15
平成24年度消防団員の教育 .....	15
平成24年度消防団員の表彰 .....	16
消防団自動車配置状況 .....	16

### 予 防

#### 危険物規制

平成24年度危険物数量別施設状況 .....	17
平成24年度危険物施設の査察状況 .....	17
平成24年度危険物施設別の許可、完成及び廃止状況 .....	17
平成24年度危険物規制事務月別処理件数 .....	18

幼年消防	
幼年消防クラブ	18
建築・査察	
平成24年度防火対象物の現況	19
平成24年度建築同意事務処理件数	20
防火管理者を必要とする事業所状況	21
消防用設備等の設置状況	22
中高層建築物の現況	23

## 警 防

火災統計	
火災概況	24
火災概要	25
火災統計総括表	26
月別・日別火災発生件数	27
月別・時間別火災発生件数	27
月別・曜日別火災発生件数	28
気象別火災発生件数	29
用途別・月別建物火災等の出火件数	30
出火原因別火災発生件数	31
過去5年間の火災件数と損害額及び焼損床面積比較表	32
過去5年間の出火原因別件数	33
救急統計	
救急概況	34
救急出場事故種別概要	35
月別出場件数	36
曜日別出場件数	36
時間帯別出場件数	37
現場到着所要時間別出場件数	38
収容所要時間別搬送人員	38
管外搬送件数	39
救急隊員の行った応急処置件数	40
救急救命士による救命処置	40
傷病程度別搬送人員	41
性別搬送人員	42
年齢区分別搬送人員	42
急病にかかる疾病分類別搬送人員	43
不搬送理由別件数	43
傷病程度別搬送人員(65歳以上)	44
急病にかかる疾病分類別搬送人員(65歳以上)	44
過去10年間の救急状況推移	45
救助統計	
救助概況	46
救助隊設置状況	46
救助活動状況	46
過去5年間の救助出場件数	47

## 直方市の概況

### ○ 位置

直方市は、福岡県の北部にあって、遠賀川に沿って開ける筑豊平野のほぼ中央に位置しています。

市の東側は福智山山系で北九州市小倉南区と接し、西側は鞍手郡鞍手町及び宮若市と境を接しています。また、南側は田川郡福智町、飯塚市及び鞍手郡小竹町と、北側は北九州市八幡西区、鞍手郡鞍手町と境を接し、その広ぼうは、東西11.56km、南北9.45km、面積61.78km<sup>2</sup>となっています。

### ○ 地勢

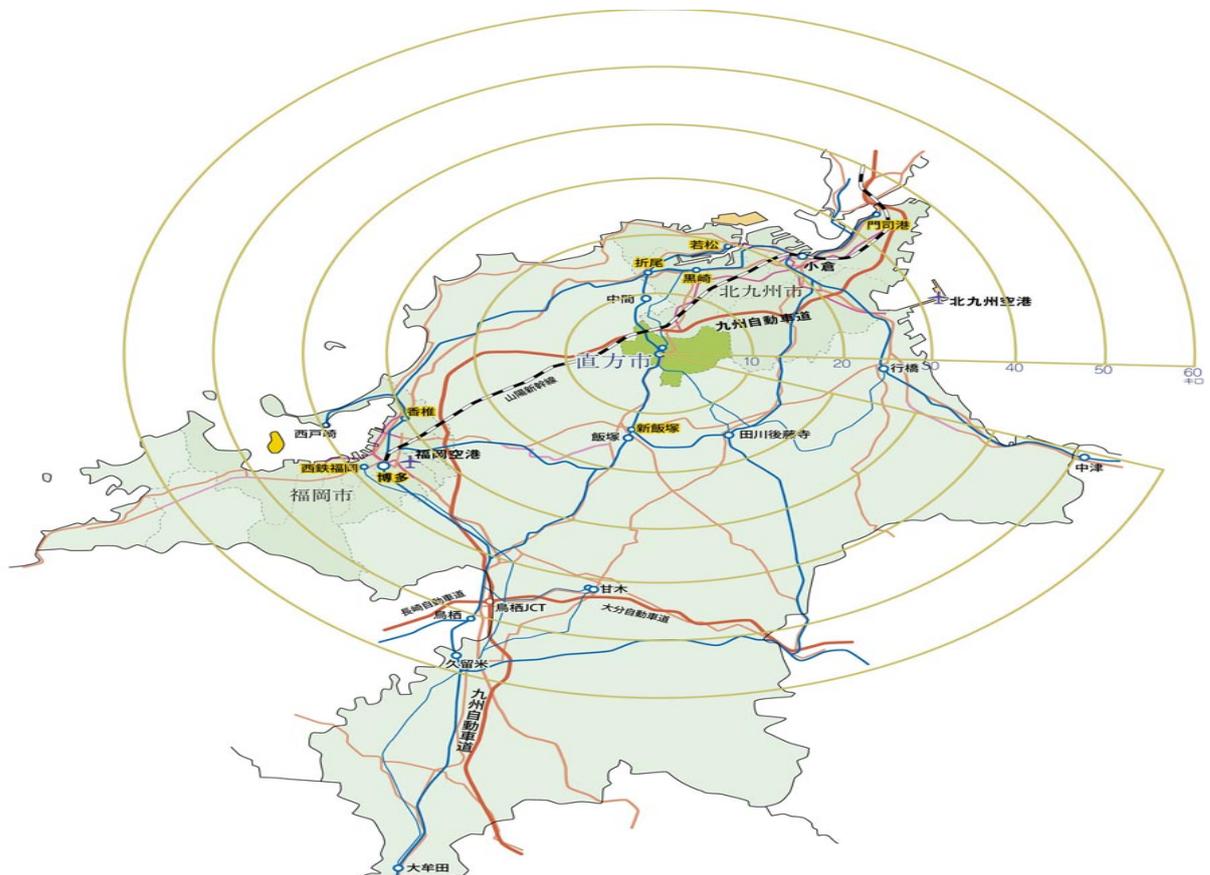
本市の東部には福智山(900.8m)がそびえ、その支脈(平均標高600m)が南北に走っています。

また、西部には六ヶ岳(339m)を中心とした丘陵が北西に広がり、市の中央部は小高い丘を含む比較的平坦な地形になっています。

そして、この中央部を彦山川、犬鳴川などの支流を集めながら遠賀川が北流し、遠賀郡芦屋町で響灘に注いでいます。

本市中心部(市街地)は、この遠賀川とJR福北ゆたか線に挟まれた地帯にあり、東部西部地域は住宅地帯、南部地域は工業地帯、北部地域は農村地帯を中心に形成されています。

### 直方市の位置



# 直方市消防の沿革

年次		主なできごと
昭和23年	2月	福岡県告示第55号 直方消防署設置(管轄区域 直方市内及び鞍手郡一円) 消防庁舎仮庁舎直方警察署内に開設 職員定数31名で発足 消防ポンプ自動車(ダッチ)常備消防隊から引継、(トヨタ(2)・ニッサン)県から3台配置
	3月	直方市告示第34号 直方市消防本部 直方市消防署設置(管轄区域 直方市) 初代消防長、神門庫市氏就任
	5月	田川郡赤池町、鞍手郡小竹町と消防相互応援協定締結
昭和24年	2月	消防署長公舎(直方市下老良)及び署僚公舎(直方市山部1394-5)取得
昭和26年	12月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
昭和27年	9月	飯塚市、田川市と消防相互応援協定締結
昭和29年	4月	防火協力会設立発足(外郭団体)
	6月	消防ポンプ自動車(出光号)購入
昭和30年	2月	防火協力会を直方市消防協力会に改称
	3月	管轄区域の変更、鞍手郡植木町を編入 植木水防倉庫譲受(行政区域編入)
	8月	消防職員定数条例改正により34名(3名増員)
昭和31年	6月	消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和33年	3月	水防倉庫建設(直方市下老良5134-6)
	8月	管轄区域の変更、鞍手郡小竹町赤地の一部を編入
	12月	司令車(ウイルス)市水道課から移管
昭和35年	4月	水防管理団体指定
	9月	直鞍地区危険物安全協会設立発足(外郭団体) 福岡県危険物安全協会連合会加盟
	10月	消防庁舎新築落成 司令車(トヨペット)直方市消防協力会から寄贈
昭和36年	1月	消防自動車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈
昭和37年	1月	直方市まとい会設立発足(外郭団体)
	3月	第2代消防長、那須勉氏就任
昭和38年	2月	北九州市と消防相互応援協定締結
	4月	救急業務開始 救急自動車(ニッサン)市衛生課から受入
	5月	消防職員定数条例改正により41名(7名増員)
昭和39年	3月	水防倉庫移転改築(直方市御館山644-21)
	10月	鞍手郡宮田町と消防相互応援協定締結
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和40年	8月	救急自動車(トヨタ)購入
	12月	鞍手郡鞍手町と消防相互応援協定締結
昭和41年	6月	消防用無線(県内波及び市町村波)整備
	10月	火災報知専用電話(119番)逆探知装置設置
昭和42年	4月	普通乗用車(ニッサンセドリック)直方市消防協力会から寄贈 風向、風速、水量、水圧計購入 植木水防倉庫老朽化のため解体
	6月	筑豊地区消防設備士会直鞍部会設立発足(外郭団体)
	7月	消防職員定数条例改正により42名(1名増員) 直方市消防団事務の移管(市総務課から消防本部企画係(新設)へ)
	11月	屈折はしご付消防ポンプ自動車(いすず)購入
昭和43年	10月	直方市消防団分団統合(16分団から7分団へ)
昭和44年	8月	水槽付消防ポンプ自動車(いすず)購入
	9月	第3代消防長、河村通氏就任

年次		主なできごと
昭和44年	10月	消防署長公舎廃止(地権者賃借契約解約)
昭和45年	4月	普通乗用車(ニッサンセドリック)市から移管
	5月	消防司令車(ニッサンセドリックバン)購入
	12月	査察車(ニッサンサニー)福岡県石油部会直方部会から寄贈
昭和46年	4月	鞍手郡鞍手町小竹町と救急業務相互応援協定締結 超短波無線電話装置に切替え
	5月	折りたたみ式アルミボート(ヤマハ船外機付)購入
昭和47年	1月	望楼監視テレビ設置
	4月	自記温湿度計購入
	6月	折りたたみ式アルミボート(トーハツ船外機付)購入
	7月	消防職員定数条例改正45名(3名増員)
	9月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
	10月	筑豊地区消防相互応援協定締結
昭和48年	4月	第4代消防長、福原八郎氏就任
	7月	普通乗用車(ニッサンプレジデント)市から移管
	8月	救急自動車(トヨタ)日本消防協会から寄贈 救急自動車2台配備体制確立
昭和49年	6月	直方市消防協力会解散
	12月	「直方市民防災の日」制定:毎月1日
昭和50年	3月	直方鞍手広域市町村圏事務組合と救急事務相互応援協定締結
	6月	第12回福岡県総合防災訓練実施
昭和51年	3月	消防救急指令装置I型購入 テレガイド装置5回線運用開始
	4月	救急自動車(トヨタ)日本損害保険協会から寄贈
	12月	査察車(ニッサンサニー)福岡県石油商業組合直方部会から寄贈
昭和52年	3月	救急法実技指導用人形(幼児等身大1体)直方市まとい会から寄贈 消防救助隊屋外訓練施設(市民会館裏)整備
	7月	消防救助隊設置(隊長以下11名) 水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和53年	3月	携帯用中型無線電話機 直方市まとい会から寄贈
昭和54年	6月	「筑豊地区消防設備士会直鞍部会」を「福岡県消防設備安全協会直鞍支部」に改称
	7月	輸送車(トヨタ)購入
	12月	消防署僚公舎廃止(老朽化) 消防職員定数条例改正49名(4名増員)
昭和55年	3月	水防倉庫改築(直方市知古)
	5月	司令車(ニッサンセドリック)購入
	9月	組立式ボート(3人用2隻)購入 病院運用表示盤購入
昭和56年	3月	救急指導用16ミリフィルム2本、救急法実技指導用人形(大人等身大)1体 直方市まとい会から寄贈
	5月	組立式ボート(3人用1隻)購入
	8月	化学消防ポンプ自動車(日野)購入
	10月	救急自動車(ニッサン)日本消防協会から寄贈
昭和57年	8月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
	12月	福岡県防災行政無線導入
昭和58年	12月	はしご付消防ポンプ自動車(日野15m級)購入
昭和59年	3月	望楼監視テレビ廃止 火災時使用するホースブリッジ20組 直方市まとい会から寄贈
	8月	水難救助隊発足(隊長以下13名)
	11月	査察車(トヨタ)購入

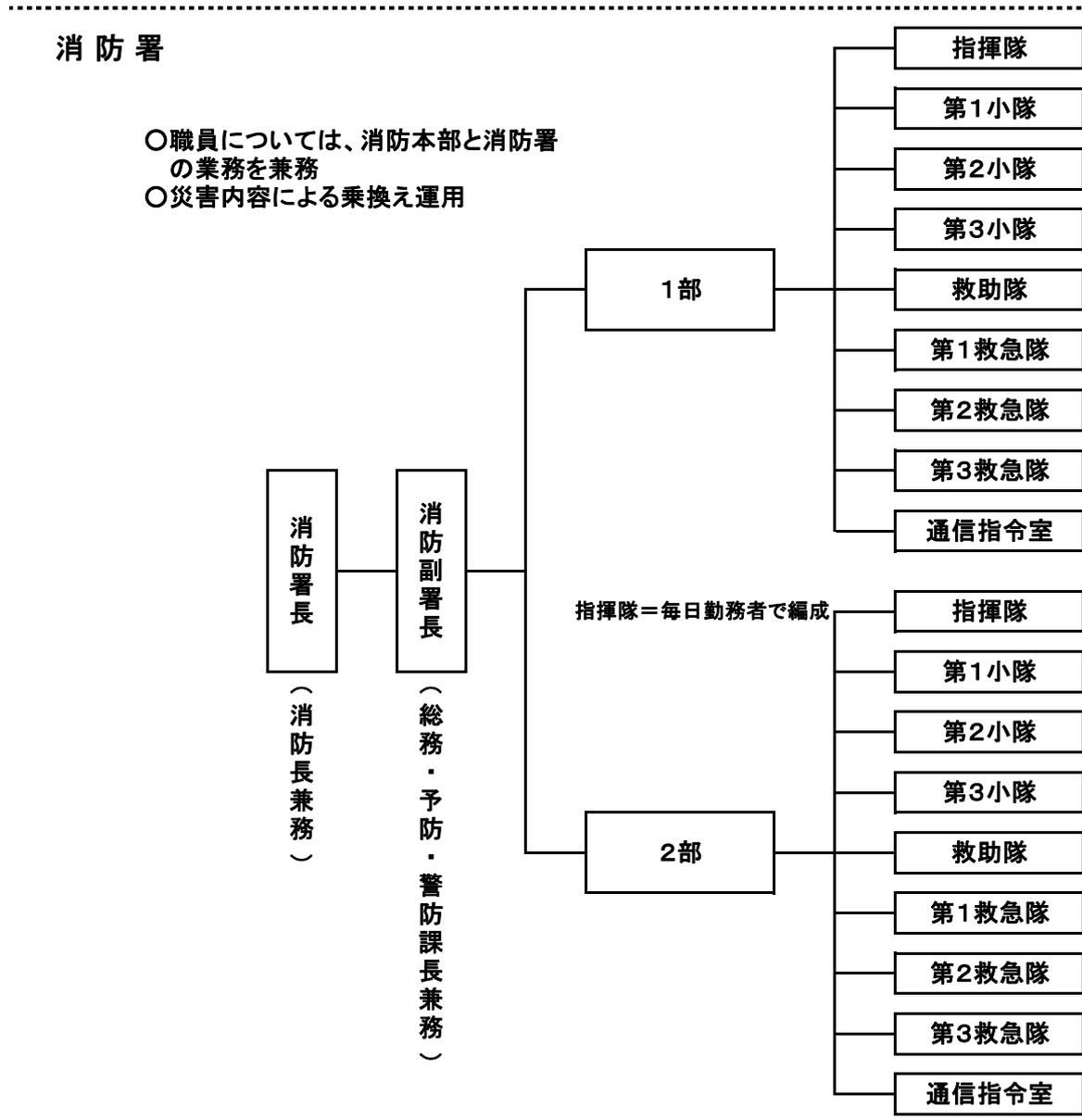
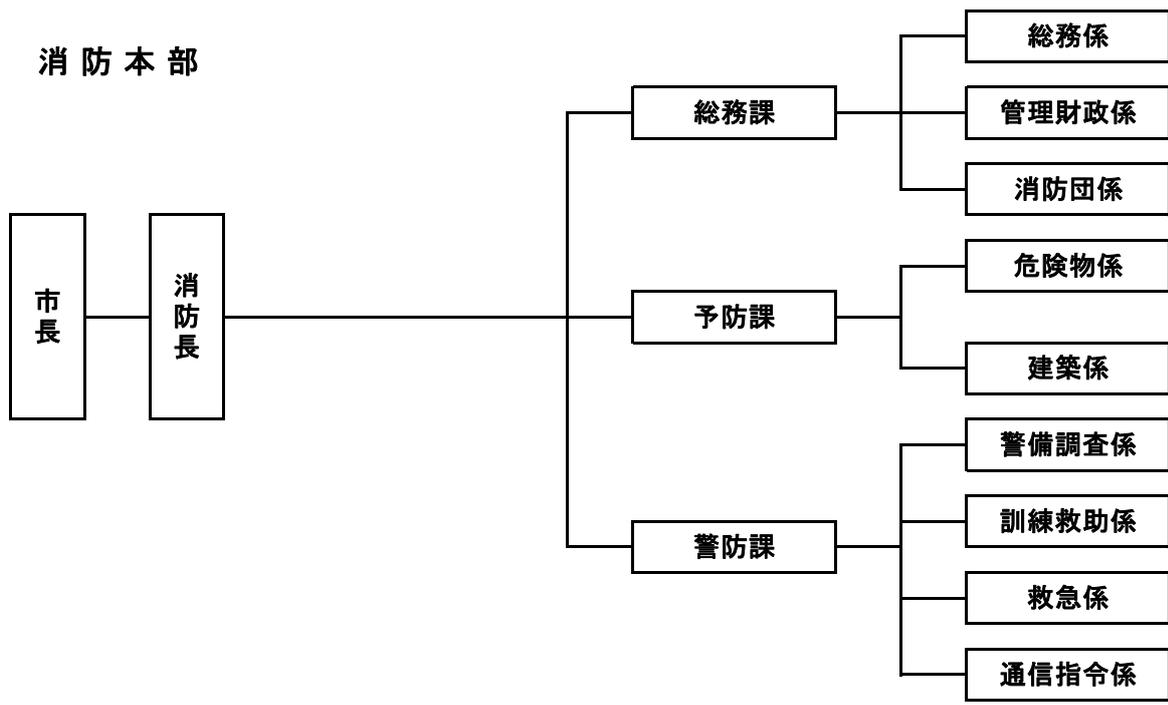
年次		主なできごと
昭和59年	12月	トーカー音源装置(テレホンガイド)設置による災害情報の市民広報充実
昭和60年	2月	救急自動車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈
昭和61年	4月	第5代消防長、梅津實氏就任
	7月	河川情報システム(端末機)の導入 パーソナルコンピュータの導入
	9月	4週5休制試行・実施
	10月	高速自動車道における消防相互応援協定締結
昭和62年	2月	事務所集団電話システム化(ビル電話)
	3月	花纏 直方市まとい会から寄贈
	5月	組立式ボート(2人用2隻)購入 司令車(ニッサングロリア)直方ロータリークラブから寄贈
	12月	消防緊急指令装置Ⅱ型購入
昭和63年	2月	水槽付消防ポンプ自動車(日野) 救急自動車(ニッサン) 購入
	4月	4週6休制試行(土曜閉庁:第2、第4土曜1/2方式)
	7月	新消防庁舎用地取得(直方市新町5054-5:1, 477.01平方メートル)
	10月	福岡県防災行政無線ファクシミリの導入
	12月	救急自動車3台配備体制確立
平成元年	2月	地図検索装置購入
	3月	福岡県消防相互応援協定締結(広域航空消防応援協定を含む)
	4月	4週6休制実施
	7月	新消防庁舎起工式実施 救急自動車(いすず)福岡県消防協会から寄贈
	8月	土曜閉庁(第2、第4土曜日)
	9月	消防用無線(全国波)整備
	10月	救助工作車(いすず)日本損害保険協会から寄贈
	12月	輸送車(トヨタ)購入 直方市情報公開条例制定
平成2年	3月	新消防庁舎建設(直方市新町2丁目5-10) 液晶ビジョー式、体力練成用資機材一式、行事等で使用するテント2張り 直方市まとい会から寄贈
	4月	マイクロバス(ニッサン)市から移管 新消防庁舎落成式 旧消防庁舎閉庁式実施 新消防庁舎業務開始
	5月	連絡車(軽自動車スバル)購入 新消防庁舎開庁式実施
	6月	災害情報等画像転送装置、市総務課から移管 消防庁舎職員駐輪場新設
	9月	直方市情報公開制度開示
	10月	気象情報(観測)収集装置購入
	12月	消防庁舎車庫(西側)オーバースライダー設置 市役所新庁舎に消防用無線(空中線)設備設置
平成3年	4月	第6代消防長、行實清美氏就任
	5月	第28回福岡県総合防災訓練実施
	8月	消防団広報車(トヨタ)日本消防協会から寄贈
平成4年	3月	救急車(ニッサン3,000cc)購入
	7月	幼年消防クラブ結成式(保育園12園、幼稚園8園:2,519人)
	8月	完全週休2日制(4週8休)実施 8/15~ 3当1休、4当1休併用型 10/10~ 3当1休型
	11月	消防無線救急波複信化運用開始(救急1・2・3号車)

年次		主なできごと
平成4年	11月	幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会:万福寺さくら保育園) 消防査察車(ニッサンAD1, 500cc級)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	12月	高度救急資機材整備(6点セット) 直方市消防団組織等に関する規則改正
平成5年	4月	直方市消防団組織改正(7分団16部から8分団16部に) 消防用(水防・水難)ゴムボート(1隻)購入
	5月	消防救助隊訓練施設整備(斜めブリッジ救助用訓練施設)
	9月	救助用資機材(油圧エンジン)整備
平成6年	1月	幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会:下境幼稚園)
	2月	救急自動車(ニッサン)福岡県共済農業組合連合会から寄贈
	4月	移動無線ファックス購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	5月	油圧救助器具用チェーンセット整備
	6月	消防庁舎監視用カメラ導入(白黒固定テレビカメラ3台・白黒ビデオ受信機1台) 消防庁舎指令室シャッター設置工事
	7月	蘇生訓練用生体シュミレーター整備
平成7年	12月	超短波無線電話装置第1装置更新(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	消防庁舎環境整備事業 [庁舎西側(浄化槽上)の舗装、浴室ガス給湯器取替え、待機室畳張替え、塗装] 消防自動車(消防3号車)購入(自動昇降装置付電動ホースレイヤー装備)
	4月	福岡県消防設備安全協会直轄支部の事務局に関する会則改正
	8月	携帯・自動車電話機の整備
	10月	化学防護服の整備
	12月	非常順次通報装置、防火衣の整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成8年	1月	講堂兼体育館に暖房施設(ストーブ2台) 消防長専用公用車の配置(市議会事務局より移管)
	3月	高規格救急車購入(高度救急資機材整備9点セット、自動車電話) 消防職員定数条例改正53名(4名増員)
	4月	向野敏昭助役、消防長事務取扱いに就任 直方市消防吏員服制規則を改正、キャップ式略帽を採用 26人乗りマイクロバス配置(市建設部より移管)
	7月	消防職員定数条例改正54名(1名増員) 第7代消防長、安田英人氏就任(建設部次長から) 伝送用携帯電話及びファックスの整備
	10月	直方市消防本部消防職員委員会に関する規則の制定(消防職員委員会制度の発足) 第1回直方市自衛消防隊操法大会実施(7チーム) 119番通報訓練装置購入
	11月	オゾン殺菌紫外線殺菌機ロッカー設置 福岡県震度情報ネットワークシステム(福岡県事業)、震度計設置
	12月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(消防2号車)購入 防火衣の整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	平成9年	3月
4月		第8代消防長、藤永誠一氏就任(市民福祉部保護課長から) 直方市消防本部組織規則の一部改正(係名、部変更及び分掌事務見直し実施)
5月		連絡車購入
7月		直方市消防団に女性団員10名任命 消防庁舎防水工事施工
8月		福岡県知事から感謝状(自治体消防50年記念)

年次		主なできごと
平成9年	10月	救命ボート(船外機付)購入 第2回直方市自衛消防隊操法大会実施(9チーム)
	11月	15人乗りマイクロバス配置(失業対策課より移管) 輸送車購入
	12月	空気呼吸器(3セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成10年	3月	消防庁舎環境整備事業(更衣室床張り) 高規格救急車購入(高度救命用資機材整備10点、自動車電話及びFAX) 消防団団旗収納用ケース一式 直方市まとい会から寄贈
	8月	救急救命士による救急業務運用開始 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク衛星系回線の暫定運用開始
	11月	福岡県防災行政無線及び無線ファクシミリの廃止 心電図電送装置及び半自動徐細動器購入
	12月	空気呼吸器(1セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成11年	2月	はしご付消防自動車(日野30m級)購入
	3月	女性消防団員(10人)夏用作業服一式 直方市まとい会から寄贈
	11月	ラインプロポーションナー泡ノズル(16式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成12年	1月	水槽付消防ポンプ自動車(日野水I-B型)購入 消防緊急通信指令施設(富士通ゼネラル)運用開始 (指令装置I型、支援情報検索処理装置、地図等検索装置、発信地表示装置)
	3月	消防団緊急伝達システム運用開始 無線指揮車(ニッサン)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防団のぼり旗一対 直方市まとい会から寄贈
	4月	第9代消防長、舌間英規氏就任(直方・鞍手広域市町村圏事務組合事務局長から)
	7月	高規格救急車(救急1号車)及び高度救命処置用資機材購入
平成13年	1月	空気呼吸器(3セット)携帯無線機(5W:10台)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成14年	1月	空気呼吸器(1セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 防火衣ズボン(54本)編上げゴム長靴(54足)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	小型動力ポンプ付水槽車(日野I型)購入
	3月	消防団のぼり旗(大)一竿 直方市まとい会から寄贈
	4月	第10代消防長、田村耕造氏就任
	11月	空気呼吸器(4セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) ラインプロポーションナー(2式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防用ホース50mm(32本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成15年	11月	救助用資機材(酸素溶断機)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成16年	1月	救助用資機材(ペダルカッター・ドアオープナー)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 広報車購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	消防用ホース50mm(20本)、65mm(10本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	防火水槽の整備(防災基盤整備事業) AED(自動体外式除細動器)一式、トレーニングユニット一式 直方市まとい会から寄贈
	7月	資機材搬送車(三菱・キャンター)購入
平成17年	3月	救助用資機材(マット型空気ジャッキ)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防用ホース50mm(28本)、65mm(52本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	第11代消防長、林友治氏就任
	7月	AED1台及びトレーニングシステム購入
	11月	携帯電話119直接受信運用開始
平成18年	12月	連絡車2(ニッサン)市から移管
	2月	高規格救急車(救急3号車)及び高度救命処置用資機材購入



# 直方市消防本部・消防署の組織



# 直方市消防本部事務分掌

## 総務課

### 総務係

- (1) 消防本部事業の総合調整に関する事。
- (2) 職員の任免、服務等その他身分に関する事。
- (3) 職員の人事並びに研修及び学校教育に関する事。
- (4) 職員及び団員の公務災害補償に関する事。
- (5) 職員の表彰及び団員の表彰（消防協会に係るものを除く。）に関する事。
- (6) 文書管理及び公印管理に関する事。
- (7) 条例、規則等の例規管理に関する事。
- (8) 消防力の整備に関する事。
- (9) 消防史及び沿革等の記録に関する事。
- (10) 消防年報、統計調査等に関する事。
- (11) 消防長会に関する事。
- (12) 消防職員委員会に関する事。
- (13) 安全衛生委員会に関する事。
- (14) 直方市まとい会に関する事。
- (15) 他の課又は他の係に属さない事務に関する事。

### 管理財政係

- (1) 消防本部事務事業計画の企画に関する事。
- (2) 消防本部の予算及び決算に関する事。
- (3) 職員の給与、手当等に関する事。
- (4) 職員の被服、貸与品、共済及び福利厚生に関する事。
- (5) 庁舎の維持管理及び備品等の管理に関する事。
- (6) 補助金、交付金等に関する事。
- (7) 財産の管理に関する事。
- (8) その他財政に関する事。

### 消防団係

- (1) 消防団の予算及び決算に関する事。
- (2) 消防団員の任免、報酬及び費用弁償等に関する事。
- (3) 消防団員の報償及び公務災害補償に関する事。
- (4) 消防団員の服制等の貸与品に関する事。
- (5) 消防団施設及び機械器具等の維持管理に関する事。
- (6) 消防団員の教養、研修及び学校教育に関する事。
- (7) 消防団の儀式、行事及び訓練等に関する事。
- (8) 消防協会に関する事。
- (9) その他消防団に関する事。

## 予 防 課

### 危険物係

- (1) 危険物の規制事務に関すること。
- (2) 危険物施設等の予防査察に関すること。
- (3) 危険物施設等の違反是正に関すること。
- (4) 危険物施設等の自衛消防隊の育成指導に関すること。
- (5) 危険物施設等の統計に関すること。
- (6) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (7) 圧縮アセチレンガス等の届出等に関すること。
- (8) 火気使用設備等に関すること。
- (9) 危険物施設等の災害及び事故調査に関すること。
- (10) 危険物安全協会に関すること。
- (11) 火災予防運動に関すること。
- (12) 防火クラブに関すること。
- (13) その他危険物に関すること。
- (14) 危険物施設の同意に関すること。
- (15) 消防の予防広報及び防火思想の普及宣伝に関すること。

### 建築係

- (1) 建築許可等の同意等に関すること。
- (2) 消防用設備等に関すること。
- (3) 建築物（防火対象物）の予防査察に関すること。
- (4) 建築物（防火対象物）の違反是正に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 建築物（防火対象物）の統計に関すること。
- (7) 事業所における防火訓練指導及び自衛消防隊の育成指導に関すること。
- (8) 消防の予防広報、住宅防火及び防火思想の普及宣伝に関すること。
- (9) 旅館等の意見書交付に関すること。
- (10) 建築物（防火対象物）の使用開始等に関すること。
- (11) 消防設備安全協会に関すること。
- (12) その他建築に関すること。

## 警 防 課

### 警備調査係

- (1) 災害の警戒警備に関すること。（消防特別警戒等を含む。）
- (2) 災害の原因及び損害の調査に関すること。
- (3) 災害の罹災証明に関すること。
- (4) 火災警報及び火の使用の制限に関すること。
- (5) 林野火入れ許可に関すること。
- (6) 災害状況の報告及び災害の統計に関すること。（救急に係るものを除く。）
- (7) 火災予防条例の規定に基づく各種届出に関すること。（予防課に係るものを除く。）

- (8) 即時通報に関する事。
- (9) 国民保護及び災害時要援護者等の対策に関する事。
- (10) 消防車両及び機械器具等の整備、運用及び維持管理に関する事。(救急に係るものを除く。)
- (11) その他警防及び防災に関する事。

#### 訓練救助係

- (1) 総合的災害演習及び各個別訓練の計画並びに安全管理に関する事。(救急に係るものを除く。)
- (2) 消防相互応援協定に関する事。
- (3) 消防活動計画に関する事。
- (4) 水利の整備及び維持管理並びに開発行為に関する事。
- (5) 機関員の養成に関する事。
- (6) 救助隊の運営、隊員の教育、研修等に関する事。
- (7) 救助統計に関する事。
- (8) その他救助に関する事。

#### 救急係

- (1) 救急車及び救急処置用資器材等の整備、運用及び維持管理に関する事。
- (2) 救急医療機関及び関係機関との連絡調整に関する事。
- (3) 救急訓練及び安全衛生管理に関する事。
- (4) 救急隊員の教育、研修等に関する事。
- (5) 救急に関する行事の企画に関する事。
- (6) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (7) 救急統計に関する事。
- (8) 患者等搬送事業に関する事。
- (9) 救急搬送証明に関する事。
- (10) その他救急に関する事。

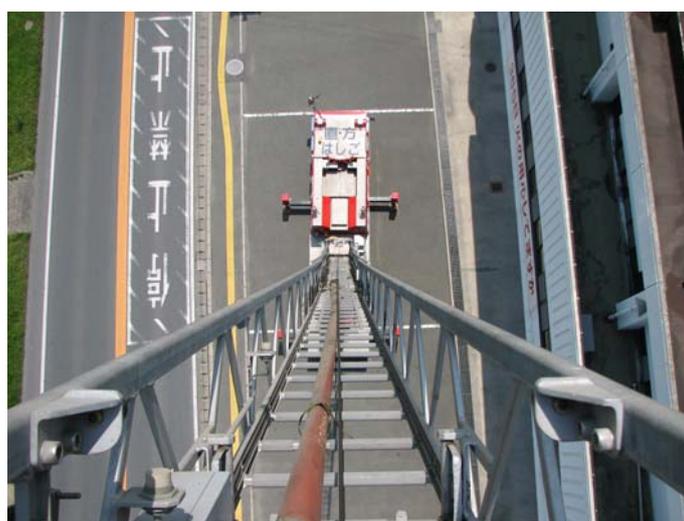
#### 通信指令係

- (1) 火災及び救急等の受信並びに出動指令に関する事。
- (2) 気象観測及び気象情報の収集に関する事。
- (3) 火災及び救急等の情報収集並びに連絡調整に関する事。
- (4) 消防通信の運用、整備及び保守管理に関する事。
- (5) 消防緊急通信指令施設の整備及び保守管理に関する事。
- (6) 災害等の広報に関する事。
- (8) 職員の非常招集に関する事。
- (9) 防災関係機関との連絡調整に関する事。

## 直方市消防署の事務

- 1. 区内における水災害の警戒、防ぎよに関する事。
- 2. 業務に関する事。
- 3. 救助業務に関する事。
- 4. 地理水利調査、警備調査に関する事。
- 5. 避難訓練指導に関する事。
- 6. その他消防に関する事。

# 総務



はしご付消防自動車のバスケットから撮影した車両

## 消防本部・消防署の位置及び管轄区域

名称	位置	管轄区域
直方市消防本部 直方市消防署	直方市新町2丁目5番10号	直方市一円

## 消防庁舎

	敷地面積	床面積(1F)	床面積(2F)	床面積(3F)	延面積	建築年月日
直方市消防本部 直方市消防署	1,847.22 m <sup>2</sup>	643.95 m <sup>2</sup>	673.39 m <sup>2</sup>	333.69 m <sup>2</sup>	1,658.85 m <sup>2</sup>	H2. 3. 31

## 消防力の基準と現有消防力

区分	車両			人員		
	基準数	現有数	不足数	現有車両等に対する基準数	現有数	不足数 現有車両等 に対する数
署所の数	2	1	1	①	②	①－②
消防ポンプ自動車	4	2	2	30	30	0
はしご自動車	1	1	0	15	0	15
化学消防自動車	1	1	0	乗換運用	0	0
指揮車	1	1	0	9	3	6
水槽車(特殊車)	1	1	1	6	6	0
救急自動車	3	3	0	27	9	18
救助工作車	1	1	0	15	0	15
小計 ア	12	10	2	102	48	54
通信員	—	—	—	5	6	0
庶務の処理等の人員	—	—	—	2	2	0
予防要員	—	—	—	17	0	17
小計 イ	—	—	—	24	8	16
合計 ア+イ	12	10	2	126	56	70

※条例定数 56名

## 消防費予算額

(単位:千円)

区分	当初予算額		比較
	24年度	25年度	
常備消防費	457,431	439,134	△18,297
非常備消防費	44,004	46,246	2,242
消防施設費	20,597	116,651	96,054
水防費	129	※0	△129
計	522,161	602,031	79,870

※水防費については事務移管により予算の計上はありません。

## 人口・世帯数当りの消防費所要額

項目 年度	1人当り消防費	1世帯当り消防費	算定の基礎	
			人口	世帯数
平成24年度	8,890 円	19,951 円	58,739 人	26,172 世帯
平成25年度	10,278 円	22,850 円	58,574 人	26,347 世帯

### 職員の実員

(平成25年4月1日現在)

階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実員	1	0	3	8	22	1	20	55

※条例定数 56人

### 職員の配置状況

(平成25年4月1日現在)

役職	消防長	課長	係長	係員					計
職名	理事	参事	参事補	主査	主査補	主任	主事	主事補	
実員	1	3	8	17	0	5	5	16	55

### 平成24年度職員の採用と退職

区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
採用							12	12
退職		1		3	1		1	6

### 職員の勤続年数

(平成25年4月1日現在)

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
5年未満							15	15
5年以上10年未満					1		5	6
10年以上15年未満					5			5
15年以上20年未満				2	11	1		14
20年以上25年未満				2	3			5
25年以上30年未満	1			1	2			4
30年以上			3	3				6
計	1		3	8	22	1	20	55

### 職員の年齢

(平成25年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18～20							4	4
21～25							13	13
26～30					1		3	4
31～35					5			5
36～40				2	12	1		15
41～45				1	3			4
46～50				2	1			3
51～55	1		2	1				4
56～60			1	2				3
計	1		3	8	22	1	20	55

### 平成24年度職員の表彰

区分	消防庁長官	全国消防長会会長	県知事
永年勤続功労等	0	3	0

## 平成24年度職員の研修

研修機関	研修内容	人数
福岡県消防学校	第124回初任教育	4
	第125回初任教育	8
	第20回水難救助教育	1
	第24回救急科	2
	消防操法指導員研修	2
福岡市消防学校	予防実務研修会	1
福岡市民防災センター	救助事例研究会	2
飯塚病院	病院実務研修(救急科)	1
	病院実務研修(救命士再研修)	2
	筑豊地域救命救急研究会救急研究部会	12
	救急活動事後研修	11
	飯塚PTLS研修	3
	トロイ・シムズ Dr.講習	3
	消防職員安全衛生研修会	1
	同和問題研修会	39
	安全運転講習会	2
	新規採用職員研修	12
	メンタルヘルス研修会	5
	人権問題研修会	2
	JPTEC福岡コース	2
	高速自動車道福岡県消防連絡協議会研修会	1
	福岡 MCLS	1
	第31回福岡県救急医学会	5
	火災調査研修会(福岡市消防局)	4
	消防団員安全管理セミナー	2
	消防団機関員研修会	4
	危険物取扱者保安講習	6
	危険物実務研修会	1
	火災調査研究発表会(北九州市消防局)	2
	違反是正研修会	2
	ドクターヘリ症例検討会	1
	消防通信に関する研修会	2
	エルスタシミュレーション研修	21
	予防実務研修会における公開講座	2
	自死遺族支援研修会	1
	救急研修会	60
	ドクターカー検証	5
	プロトコール作業部会	3
	市町村防災担当幹部職員研修	1
	「危険物安全週間」防災講演会	1
	平成24年度火災調査研修会(北九州市消防局)	2
	はしご自動車等作業員研修	1
	燃料電池バスレスキュー講習	2
	福岡県消防相互応援協定消防連絡協議会研修会	2

その他	玉掛け技能講習	2
	小型移動式クレーン運転技能講習	2
	防火講演会	2
	北九州総合病院研修会	2
	非医療従事者 AED 普及シンポジウム	2
	健和会大手町病院研修会	5
	特殊災害科教育における公開講座	2
	消防救助技術大会指導者研修会	2
	防災講演会	2

**消防団員の数** (条例定数 285 人)

(平成25年4月1日現在)

所属	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	1	2			1	2	7(女性団員)	13
1分団	1部			1	1	3	9	14
	2部		1		1	3	9	14
2分団	1部			1	1	3	12	17
	2部		1		1	3	13	18
3分団	1部		1		1	3	10	15
	2部			1	1	3	10	15
4分団	1部			1	1	3	9	14
	2部		1		1	3	10	15
5分団	1部		1		1	3	10	15
	2部			1	1	3	12	17
6分団	1部			1	1	3	10	15
	2部		1		1	3	10	15
7分団	1部		1		1	3	10	15
	2部			1	1	3	9	14
8分団	1部			1	1	3	9	14
	2部		1		1	3	11	16
計	1	2	8	8	17	50	170	256

**消防団員の年齢**

(平成25年4月1日現在)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18~20							6	6
21~25							10	10
26~30							35	35
31~35						6	41	47
36~40					2	7	33	42
41~45				2	2	9	21	34
46~50					2	9	7	18
51~55			3	4	5	9	13	34
56~60		1	4		4	6	4	19
61~65	1	1		1	2	1	1	7
65以上				2		2		4
計	1	2	7	9	17	49	171	256

## 平成24年度消防団員の教育

区分	教育場所	教育種別	人員
基礎教育	福岡県消防学校	基礎教育科	11
幹部教育	福岡県消防学校	上級幹部科	1
基礎教育	直方市中央公民館	安全管理セミナー	146
基礎教育	直方市消防本部	機関員研修	31

## 平成24年度消防団の表彰

区分		福岡県知事	日本消防協会	福岡県消防協会	消防庁長官
個人	永年勤続功労				1
	功績賞				
	精績賞		1		
	勤続章	4	5	35	
	優良団員			7	
	兄弟団員			2	
団	表彰旗		1		
	竿頭綬			1	

## 消防団自動車配置状況

(平成25年4月1日現在)

所属	種別	車名	排気量cc	年式	ポンプ名	備考
本部	広報車	ホンダ	1490	2004		
	多機能車	いすゞ	2990	2008	B2級	
1分団1部	CD-I型	いすゞ	4770	2003	A2級	
1分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	2001	A2級	
2分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1996	A2級	
2分団2部	CD-I型	いすゞ	4330	1993	A2級	
3分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1995	A2級	
3分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	2000	A2級	
4分団1部	CD-I型	三菱	5240	2003	A2級	
4分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2004	A2級	
5分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	2001	A2級	
5分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	1997	A2級	
6分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1998	A2級	
6分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2005	A2級	
7分団1部	CD-I型	いすゞ	4330	1994	A2級	
7分団2部	CD-I型	いすゞ	4000	2012	A2級	
8分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	2000	A2級	
8分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2005	A2級	

# 予防



高規格救急車

## 危険物数量別施設状況

(平成25年4月1日現在)

区分	貯蔵所						取扱所				計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
								1種	2種		
計	36	28	2	26	26	5	27	0	3	19	172
5倍以下のもの (A)	24	5	2	15	21	1	1			5	74
5倍を超え 10倍以下のもの (B)	4	9		3		4	1			10	31
10倍を超え 50倍以下のもの (C)	7	7		8	2		6		3	4	37
50倍を超え 100倍以下のもの (D)	1	1			3		2				7
100倍を超え 150倍以下のもの (E)		3					2				5
150倍を超え 200倍以下のもの (F)		1					5				6
200倍を超え 1000倍以下のもの (G)		2					10				12
1000倍を 超えるもの (H)											0

## 危険物施設の査察状況

(平成24年度中)

区分	貯蔵所						取扱所				少量等	計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般		
								1種	2種			
査察数	16	3					6				5	30

## 危険物施設別の許可、完成及び廃止状況

(平成24年度中)

種別	区分	貯蔵所						取扱所				計
		屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
									1種	2種		
設置	許可											0
	完成											0
変更	許可				2	2		6			3	13
	完成				2	2		5			3	12
廃止					4	2		2				8

## 危険物規制事務月別処理件数

(平成24年度中)

種別		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
許可	設置許可													0
	変更許可	2	1	2	1		3		2	1			1	13
	設置完成検査													0
	変更完成検査	2	1	2	1			1	4		1			12
	完成検査前検査		2											2
	仮使用承認			2	1		5		1					9
	予防規定	1												1
小計		5	4	6	3	0	8	1	7	1	1	0	1	37
届出等	譲渡引渡届		1	1										2
	品名数量倍数変更届出書		2										1	3
	廃止届					1	2			1		1	3	8
	保安監督者選解任届	1	1			1			1	3				7
	資料提出書	1	2						1			1	1	6
	記載事項変更届	3			3		1					1		8
	使用休止再開届	1												1
	災害発生届													0
	完成検査済証再交付													0
	許可証等再交付													0
	圧縮アセチレンガス等届	2	3	4	1					2		1	2	15
	少量危険物等届	1	1											2
	少量危険物等廃止届					2	3	4		2			2	13
少量危険等変更届		3	1	1	2			3		1			11	
小計		9	13	6	5	6	6	4	5	8	1	4	9	72
合計														150

## 幼年消防クラブ

幼年期から正しい防火の知識を身につけ、各種活動を通して自主協調の精神を養うことを目的として、幼稚園・保育園単位で結成された地域に根ざした活動を行っています。(平成25年4月1日現在)

クラブ名	クラブ名
大和幼稚園幼年消防クラブ	直方市立植木保育園幼年消防クラブ
下境幼稚園幼年消防クラブ	萬福寺さくら保育園幼年消防クラブ
西徳寺幼稚園幼年消防クラブ	丸山保育園幼年消防クラブ
頓野幼稚園幼年消防クラブ	新生第二保育園幼年消防クラブ
新入幼稚園幼年消防クラブ	新生第一保育園幼年消防クラブ
ポップ保育園幼年消防クラブ	感田保育園幼年消防クラブ
おんがの保育園幼年消防クラブ	浄福寺幼稚園幼年消防クラブ
直方市立中央保育園幼年消防クラブ	若草保育園幼年消防クラブ
新入ひまわり保育園幼年消防クラブ	直方セントポール幼稚園幼年消防クラブ
西徳寺保育園幼年消防クラブ	下境保育園幼年消防クラブ
浄蓮寺保育園幼年消防クラブ	清光寺幼稚園幼年消防クラブ

防火対象物の現況

(平成25年4月1日現在)

用途		区分	防火対象物数	事業所数	査察件数
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1	1	
	ロ	公会堂・集会場	15	13	1
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	2	2	
(3)	イ	待合・料理店等	2	2	
	ロ	飲食店	31	31	
(4)		百貨店・マーケット等	136	132	5
(5)	イ	旅館・ホテル等	8	6	5
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	425	276	
(6)	イ	病院・診療所・助産所	55	50	
	ロ	老人短期入所施設等	32	21	23
	ハ	老人デイサービスセンター等	48	38	4
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	22	11	
(7)		小学校・中学校等	109	29	
(8)		図書館・博物館・美術館等	3	2	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	2	
	ロ	イ以外の公衆浴場等	1	0	
(10)		車両の停車場等	1	1	
(11)		神社・寺院・教会等	57	38	
(12)	イ	工場・作業場	407	296	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	47	25	
	ロ	飛行機等の格納庫	0	0	
(14)		倉庫	212	112	
(15)		前各項に該当しない事業場	325	213	
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	228	218	3
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	109	98	
(16の2)		地下街	0	0	
(16の3)		準地下街	0	0	
(17)		重要文化財等	2	1	
(18)		アーケード	4	4	
(19)		市町村長の指定する山林	0	0	
(20)		総務省令で定める舟車	0	0	
合 計			2292	1630	41

建築同意事務処理件数

(平成24年度中)

用途		区分	新築	増築	その他	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等				
	ロ	公会堂・集会場				
(2)	イ	キャバレー・カフェー等				
	ロ	遊技場・ダンスホール				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	1			1
(4)		百貨店・マーケット等	5			5
(5)	イ	旅館・ホテル等				
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	5			5
(6)	イ	病院・診療所・助産所	2			2
	ロ	老人短期入所施設等	5			5
	ハ	老人デイサービスセンター等	3		2	5
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		1		1
(7)		小学校・中学校等	2		2	4
(8)		図書館・博物館・美術館等				
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ	イ以外の公衆浴場等				
(10)		車両の停車場等				
(11)		神社・寺院・教会等	1			1
(12)	イ	工場・作業場	3	1		4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	2			2
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫	7			7
(15)		前各項に該当しない事業場	16			16
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	3		1	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物				
(17)		重要文化財等				
(18)		アーケード				
専用住宅等			22			22
合計			77	2	5	84

防火管理者を必要とする事業所状況

(平成25年4月1日現在)

用途		区分	事業所数	防火管理者の必要な事業所		
				甲種	乙種	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1	1		1
	ロ	公会堂・集会場	13	11		11
(2)	イ	キャバレー・カフェー等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	8		8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1	2
(3)	イ	待合・料理店等	2	1	1	2
	ロ	飲食店	31	8	18	27
(4)		百貨店・マーケット等	132	71	17	88
(5)	イ	旅館・ホテル等	6	5	3	8
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	276	37		37
(6)	イ	病院・診療所・助産所	50	15		15
	ロ	老人短期入所施設等	21	17	1	18
	ハ	老人デイサービスセンター等	38	23	2	25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	11	11		11
(7)		小学校・中学校等	29	25	2	27
(8)		図書館・博物館・美術館等	2	2		2
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2		2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場等				
(10)		車両の停車場等	1			
(11)		神社・寺院・教会等	38	20	4	24
(12)	イ	工場・作業場	296	32	1	33
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	25			
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫	112	5	1	6
(15)		前各項に該当しない事業場	213	34	34	68
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	218	75	20	95
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	98	10	3	13
(17)		重要文化財等	1		1	1
合 計			1626	412	111	523

消防用設備等の設置状況

(平成25年4月1日現在)

用途	区分	消火設備				警報設備		避難設備		連結送水管	
		屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧等消火設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯		
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1				1	1		1	
	ロ	公会堂・集会場	4				14	12	4	15	
(2)	イ	キャバレー・カフェー等					1			1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	3				8	6	2	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等					2			2	
(3)	イ	待合・料理店等					1			2	
	ロ	飲食店					6	11	5	26	
(4)		百貨店・マーケット等	5	6	2	3	69	22	2	97	2
(5)	イ	旅館・ホテル等	1				6	1	3	6	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3		2		42	18	22	2	13
(6)	イ	病院・診療所・助産所	3	5	1		37	12	7	52	2
	ロ	老人短期入所施設等		22			28	2	5	29	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	1			34	1	2	43	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3				16	2	1	15	
(7)		小学校・中学校等	25				77	25	9	2	
(8)		図書館・博物館・美術館等					3			1	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					2			2	
	ロ	イ以外の公衆浴場等					1			1	
(10)		車両の停車場等									
(11)		神社・寺院・教会等	1				4	24	2	4	
(12)	イ	工場・作業場	47		7	22	159	2	1	18	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
(13)	イ	自動車庫・駐車場			5		7			1	
	ロ	飛行機等の格納庫									
(14)		倉庫	13		2	9	68	1		14	
(15)		前各項に該当しない事業場	14	1	8	2	50	22	9	34	1
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	3	2	1		66	23	26	105	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2				5	7	7	9	3
(17)		重要文化財等					1	1			
(18)		アーケード						1			4
合 計			129	38	28	36	713	193	107	490	29

中高層建築物

(平成25年4月1日現在)

用途		階数	5	6	7	8	9	10	11	14	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等									
	ロ	公会堂・集会場									
(2)	イ	キャバレー・カフェー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(3)	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店									
(4)		百貨店・マーケット等	3								3
(5)	イ	旅館・ホテル等	1		1						2
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	61	5	3	2	2	3	2	1	79
(6)	イ	病院・診療所・助産所		1	1						2
	ロ	老人短期入所施設等		1	1						2
	ハ	老人デイサービスセンター等		1							1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校									
(7)		小学校・中学校等									
(8)		図書館・博物館・美術館等									
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イ以外の公衆浴場等									
(10)		車両の停車場等									
(11)		神社・寺院・教会等									
(12)	イ	工場・作業場									
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
(13)	イ	自動車車庫・駐車場									
	ロ	飛行機等の格納庫									
(14)		倉庫									
(15)		前各項に該当しない事業場	5				1				6
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	6	3	1	2					12
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1	1	2					4
(17)		重要文化財等									
合 計			76	12	8	6	3	3	2	1	111

# 警防



救助工作車と積載資機材

# 火災概況

## 1 火災発生状況

平成24年中の火災発生件数は16件であり、前年に比べ4件減少している。火災種別ごとの内訳は、建物火災12件、車両火災3件、その他火災1件で、前年に比較すると建物火災は3件減少、車両火災は1件増加、その他火災は2件減少となっている。

## 2 火災の損害状況

平成24年中の火災における建物の焼損床面積は845.1平方メートル、焼損表面積は18.1平方メートルで、前年と比較すると焼損床面積は1068平方メートルの減少、焼損表面積は164平方メートルの減少となっている。

火災による損害額は、57,737千円であり、前年の74,068千円に比べ16,331千円減少している。

罹災世帯及び罹災人員については、本年は14世帯40人で、前年より世帯数は4世帯の減少、罹災人員は7名増加した。

## 3 出火原因

本年の出火原因は、放火（疑いを含む）が5件、電気配線、ストーブ、溶接・火花によるものがそれぞれ2件、その他が5件となっている。

本年も、昨年に続き放火（疑いを含む）での火災が増加しており、さらなる住民に対する防火意識の高揚及び予防行政の一層の強化が必要である。

## 4 死傷者数

死傷者については、死者は無く前年より減少し、負傷者についても4人で前年より1名の減少となっている。

## 火災概要（前年比）

（△印は減）

区分		年別	平成24年	平成23年	比較
火災件数（件）			16	20	△ 4
内 訳	建物		12	15	△ 3
	林野		0	0	0
	車両		3	2	1
	その他		1	3	△ 2
総損害額（千円）			57,737	74,068	△ 16,331
内 訳	建物		57,449	72,924	△ 15,475
	林野		0	0	0
	車両		253	140	113
	その他		35	1,004	△ 969
建物焼損面積(m <sup>2</sup> )			845.1 ( 18.1 )	1913.1 ( 182.1 )	△ 1068.0 △ ( 164.0 )
林野焼損面積(a)			0	0	0
焼損棟数(棟)			18	35	△ 17
罹災世帯数(世帯)			14	18	△ 4
罹災人員数(人)			40	33	7
死者数(人)			0	1	△ 1
負傷者数(人)			4	5	△ 1
直方市の人口(人)			58,693	58,833	△ 140
直方市の世帯数(世帯)			26,343	26,133	210
市民一人当り損害額(円)			984	1,259	△ 275
市民一世帯当り損害額(円)			2,192	2,834	△ 642
火災一件当り損害額(千円)			3,609	3,703	△ 94
一 日 平 均	火災発生件数(件)		0.04	0.05	△ 0.01
	焼損棟数(棟)		0.05	0.09	△ 0.04
	焼損面積(m <sup>2</sup> )		2.32	5.24	△ 2.92
	罹災人員(人)		0.11	0.09	0.02
出火率(件/1万人)			2.7	3.3	△ 0.6

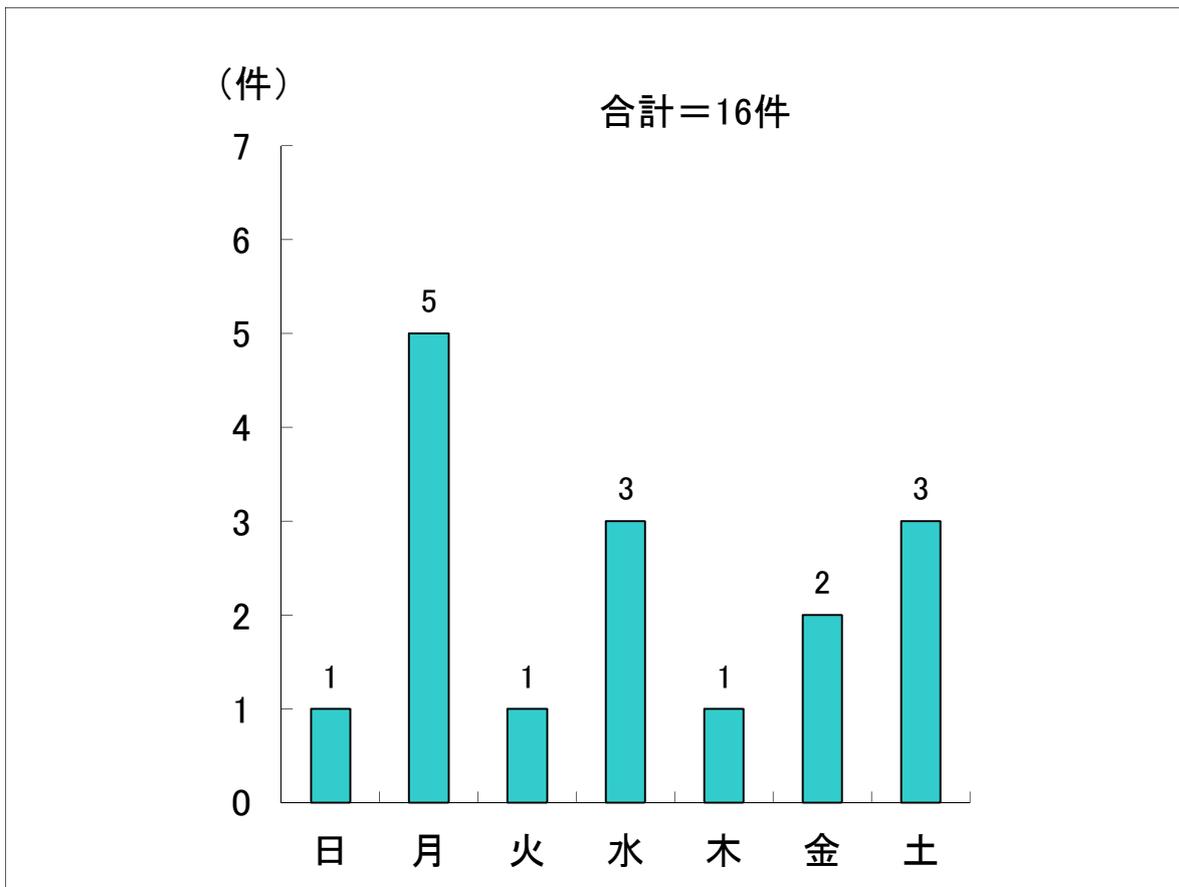
(注)

- 1 建物焼損面積は、床面積を表し、( )は、表面積を表す。  
表面積とは、建物の焼損が内壁、天井、床板等部分的なものをいう。
- 2 出火率とは、人口1万人当りの出火件数である。
- 3 平成23年中の出火率は全国平均で、3.9である。(平成24年 消防白書調べ)
- 4 人口、世帯数は、平成24年12月末日現在のものである。





## 月別・曜日別火災発生件数



月	件数	曜日						
		日	月	火	水	木	金	土
	16	1	5	1	3	1	2	3
1月	1		1					
2月	1		1					
3月	4		2			1		1
4月	1				1			
5月	1				1			
6月	0							
7月	1		1					
8月	1			1				
9月	2	1			1			
10月	2						1	1
11月	2						1	1
12月	0							

# 気象別火災発生件数

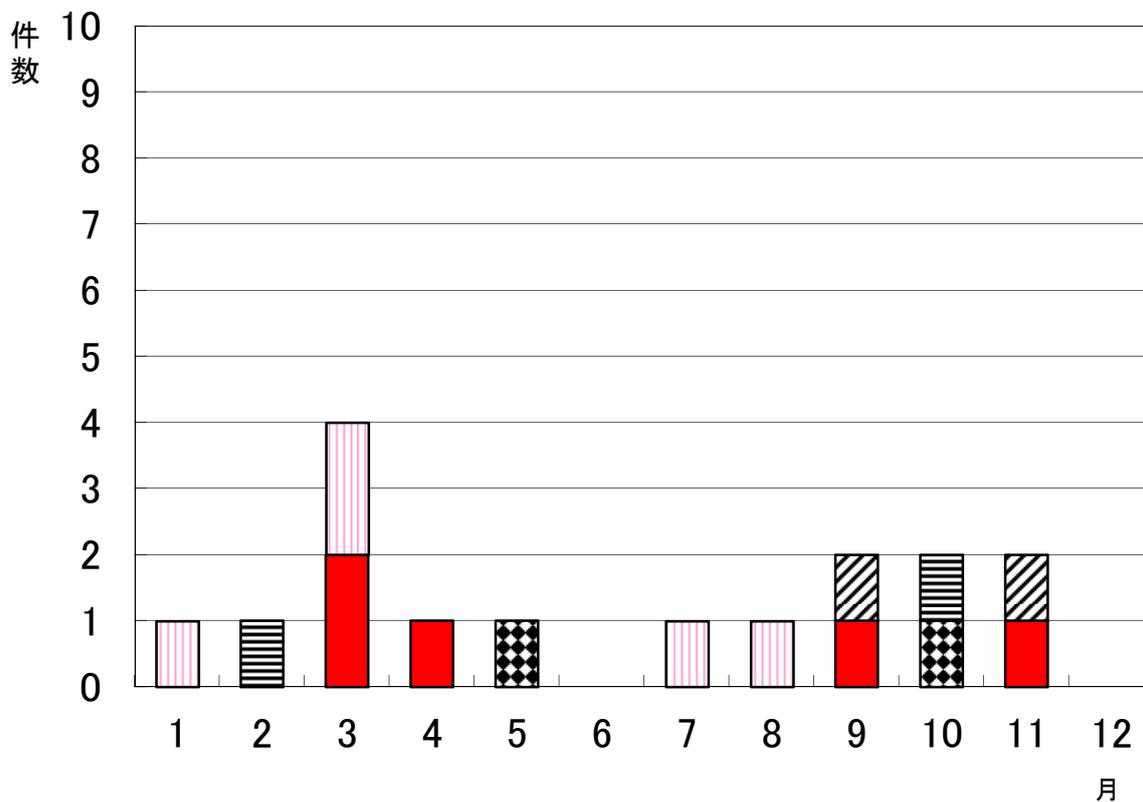
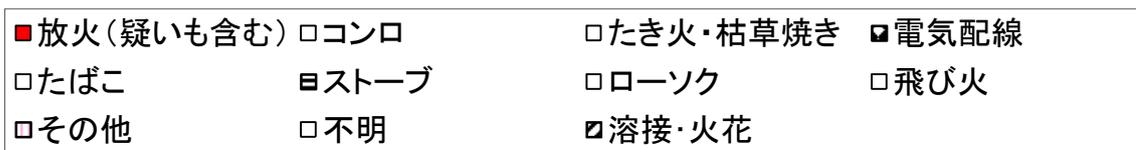
(単位=件)

		5	10	15	20
天 気	晴	#			
	曇	4			
	雨	2			
	雪				
風 向	無風				
	北	1			
	北北東				
	北東				
	東北東				
	東				
	東南東				
	南東				
	南南東	1			
	南	3			
	南南西	2			
	南西				
	西南西	1			
	西				
西北西	2				
北西	2				
北北西	4				
風 速 m/sec	無風(1未満)	2			
	1～3 未満	5			
	3～5 "	8			
	5～7 "	1			
	7～9 "				
	9 以上				
気 温 °C	5 未満	1			
	5～10 "	5			
	10～15 "	2			
	15～20 "	3			
	20～25 "	3			
	25～30 "	1			
	30 以上	1			
湿 度 %	50 未満	1			
	50～60 "	4			
	60～70 "	3			
	70～80 "	2			
	80～90 "	2			
	90 以上	4			

### 用途別・月別建物火災等の出火件数

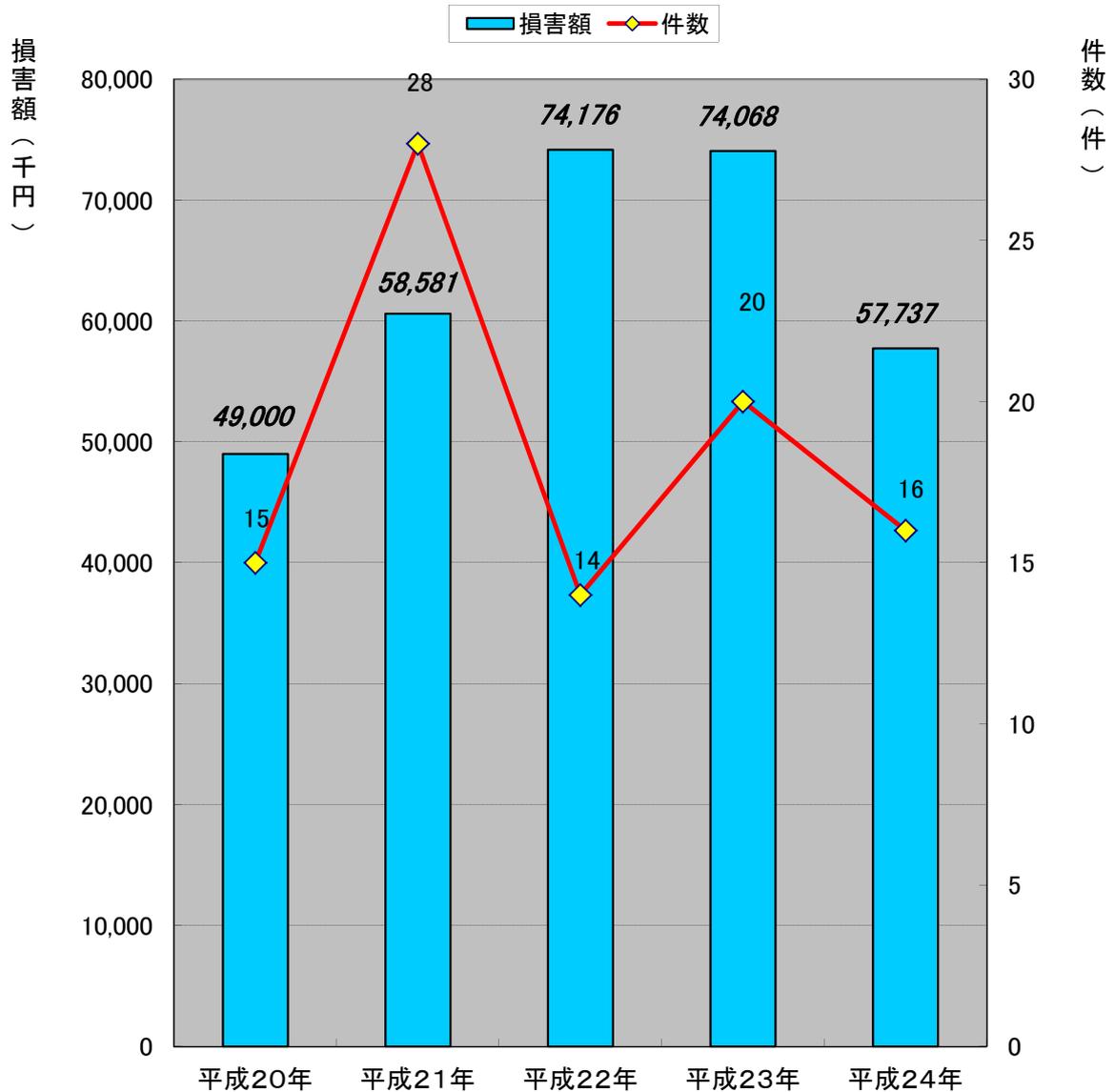
用途	月別 件数											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
住居	16	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専用住宅	1	1	4	1	1	0	1	1	2	2	2	0
共同住宅・寄宿舎			1						1			
併用住宅・附属建物												
劇場・映画館・集会場												
キャバレー・飲食店												
遊技場・ダンスホール												
百貨店・マーケット												
旅館・ホテル												
病院・診療所												
学校・幼稚園												
公衆浴場												
神社・寺院・教会			1									
工場・作業場										1		
倉庫・納屋												
事務所				1								
事務所兼倉庫												
物品販売店舗			1					1				
火葬場												
その他	1		1		1				1	1		

## 出火原因別火災発生件数



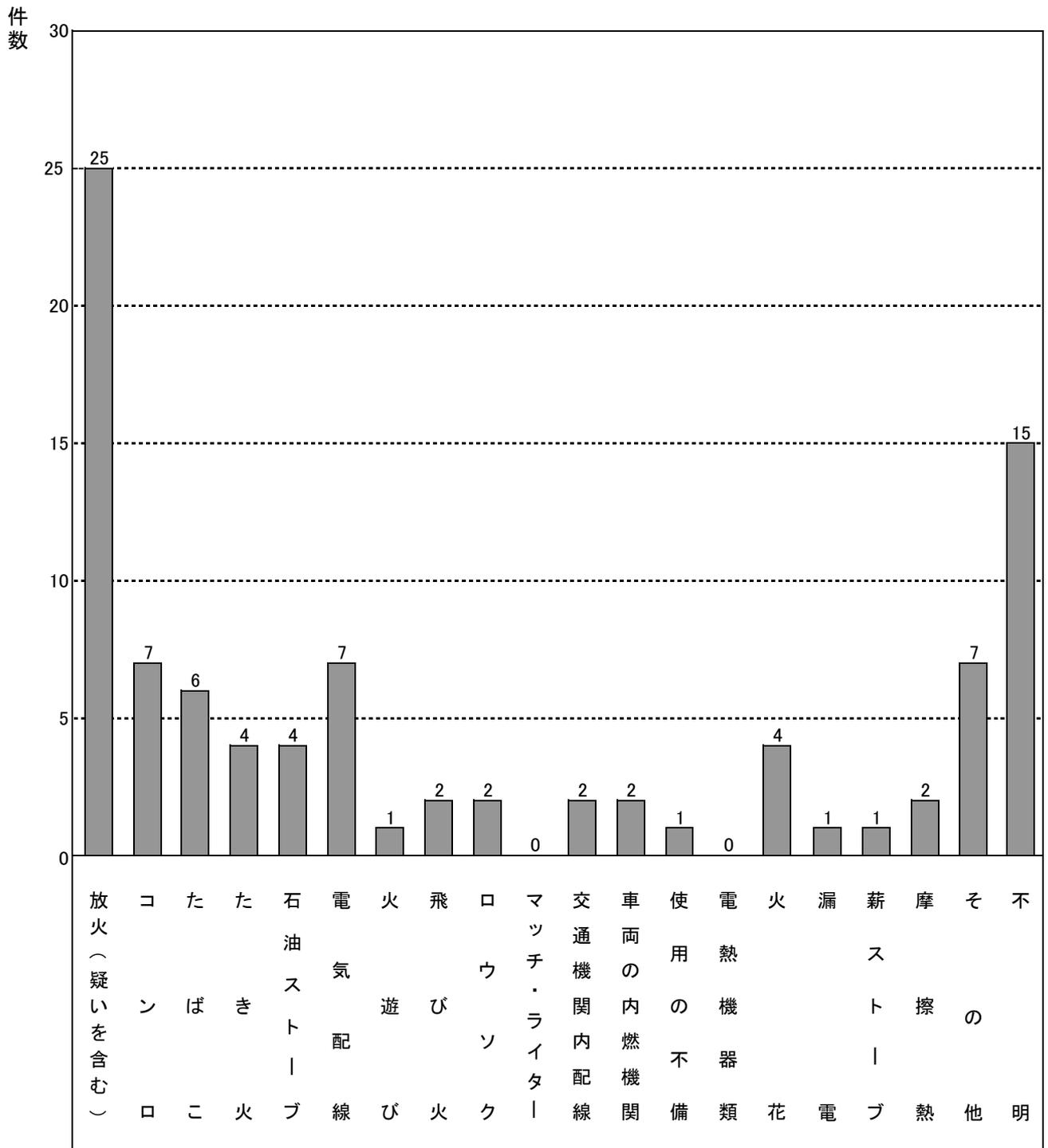
原因別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	件数	16	1	1	4	1	1	0	1	1	2	2	2
放火(疑いも含む)	5			2	1					1		1	
コンロ	0												
たき火・枯草焼き	0												
電気配線	2					1					1		
たばこ	0												
ストーブ	2		1								1		
ローソク	0												
溶接・火花	2									1		1	
飛び火	0												
その他	5	1		2				1	1				
不明	0												

## 過去5年間の火災件数と損害額及び焼損床面積比較表



年 別		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	5年間平均
件 数		15	28	14	20	16	19
損害額 (千円)	建 物	48,866	60,351	74,176	72,924	57,449	62,753
	林 野	0	0	0	0	0	0
	車 両	134	239	0	140	253	153
	その他	0	1	0	1,004	35	208
	合 計	49,000	60,591	74,176	74,068	57,737	63,114
建物焼損面積 (㎡)		839	481.3	789.7	1,913.1	845.1	974

## 過去5年間の出火原因別件数



# 救急編



## 救急概況

平成24年中の救急出場件数は3,042件で、前年比35件(1.2%)減少した。これは、当管内で1日平均8.3回救急車が出場したことになる。

事故種別の割合は、急病が1,903件(62.6%)で半数以上を占め、次いで転院搬送463件(15.2%)、一般負傷398件(13.1%)の順で上位を占める。

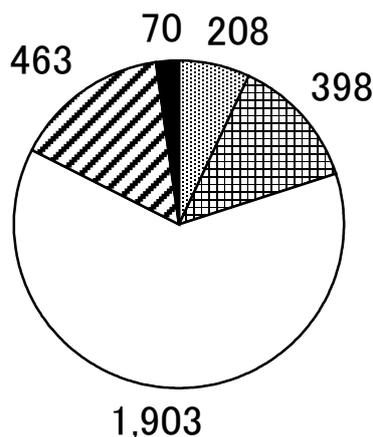
昨年より若干の減少となったものの3,000件を超え、ここ数年の救急需要の増加は異常な伸びを見せており、救急車の適正利用について、さらなる理解を求める必要性がある。

搬送人員は2,905人で、前年と比較すると6人(0.002%)の減少で、市民の20人に1人が救急車を利用したことになる。

(全国平均では25人に1人 平成24年版消防白書調べ)

なお、搬送人員のうち65歳以上の高齢者は1,747人(60.1%)で、前年の1,656人と比べ91人(5.5%)増加している。

■ 交通事故 ■ 一般負傷 □ 急病 ▨ 転院搬送 ■ その他



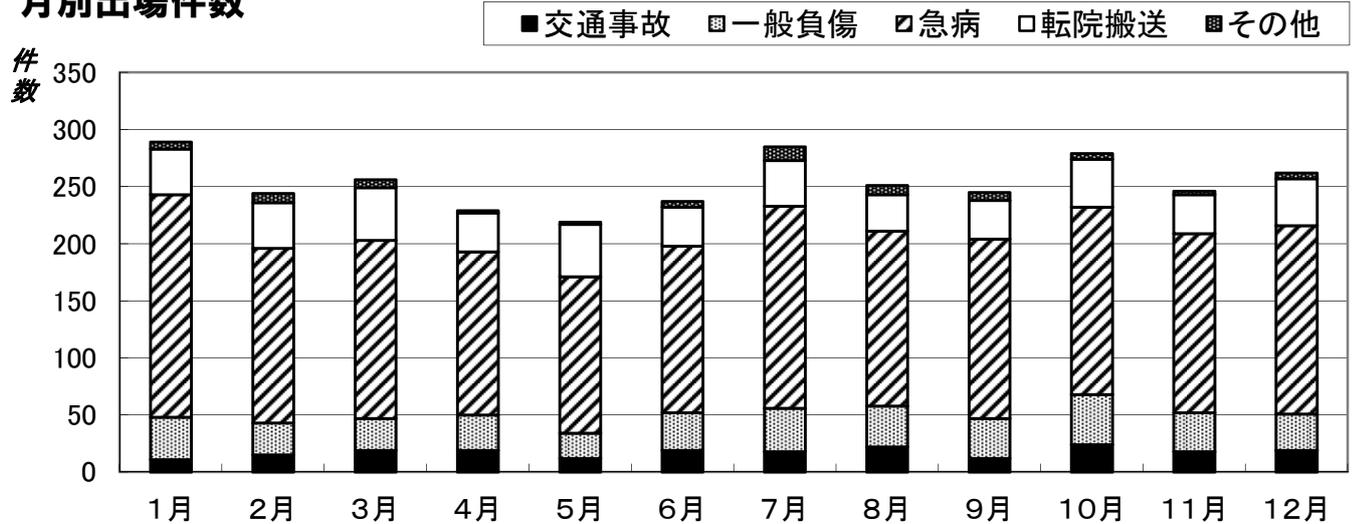
事故種別	出場件数	構成比(%)
交通事故	208	6.8
一般負傷	398	13.1
急病	1,903	62.6
転院搬送	463	15.2
その他	70	2.3
計	3,042	100.0

年間出場件数	3,042件
1日平均件数	8.3件
1日最多出場件数	19件
年間搬送人員	2,905人
救急利用率	市民約20人に1人
直方市人口(平成24年12月末現在)	58,693人

## 救急出場事故種別概要

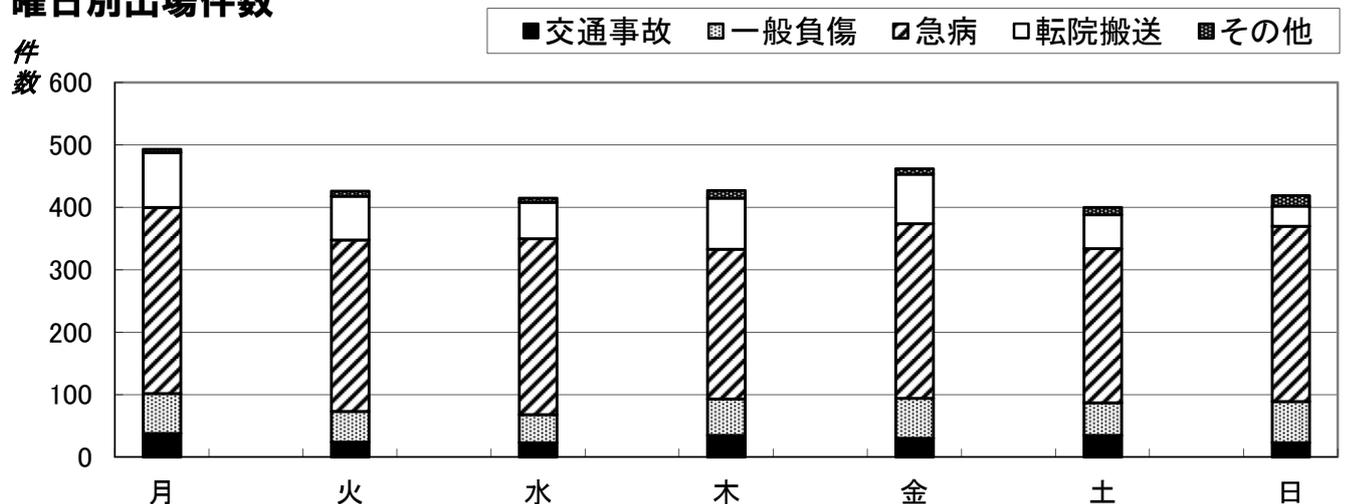
事故種別	平成23年中 出場件数	平成24年中 出場件数	増減	平成23年中 搬送人員	平成24年中 搬送人員	増減	
火災	0	2	2	0	3	3	
自然災害	0	1	1	0	0	0	
水難	0	2	2	0	1	1	
交通事故	240	208	△ 32	249	234	△ 15	
労働災害	26	11	△ 15	25	11	△ 14	
運動競技	12	12	0	12	12	0	
一般負傷	443	398	△ 45	409	373	△ 36	
加害	8	10	2	8	10	2	
自損行為	36	25	△ 11	26	17	△ 9	
急病	1,893	1,903	10	1,766	1,779	13	
その他	転院搬送	412	463	51	413	460	47
	医師搬送	0	0	0	0	0	0
	資機材	0	0	0	0	0	0
	その他	7	7	0	3	5	2
計	3,077	3,042	△ 35	2,911	2,905	△ 6	

## 月別出場件数



事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
交通事故	11	15	19	19	12	19	18	22	12	24	18	19	208
一般負傷	37	28	28	31	22	33	38	36	35	44	34	32	398
急病	195	153	156	143	137	146	177	153	157	164	157	165	1,903
転院搬送	40	40	46	34	46	34	40	32	34	42	34	41	463
その他	6	8	7	2	2	5	12	8	7	5	3	5	70
計	289	244	256	229	219	237	285	251	245	279	246	262	3,042

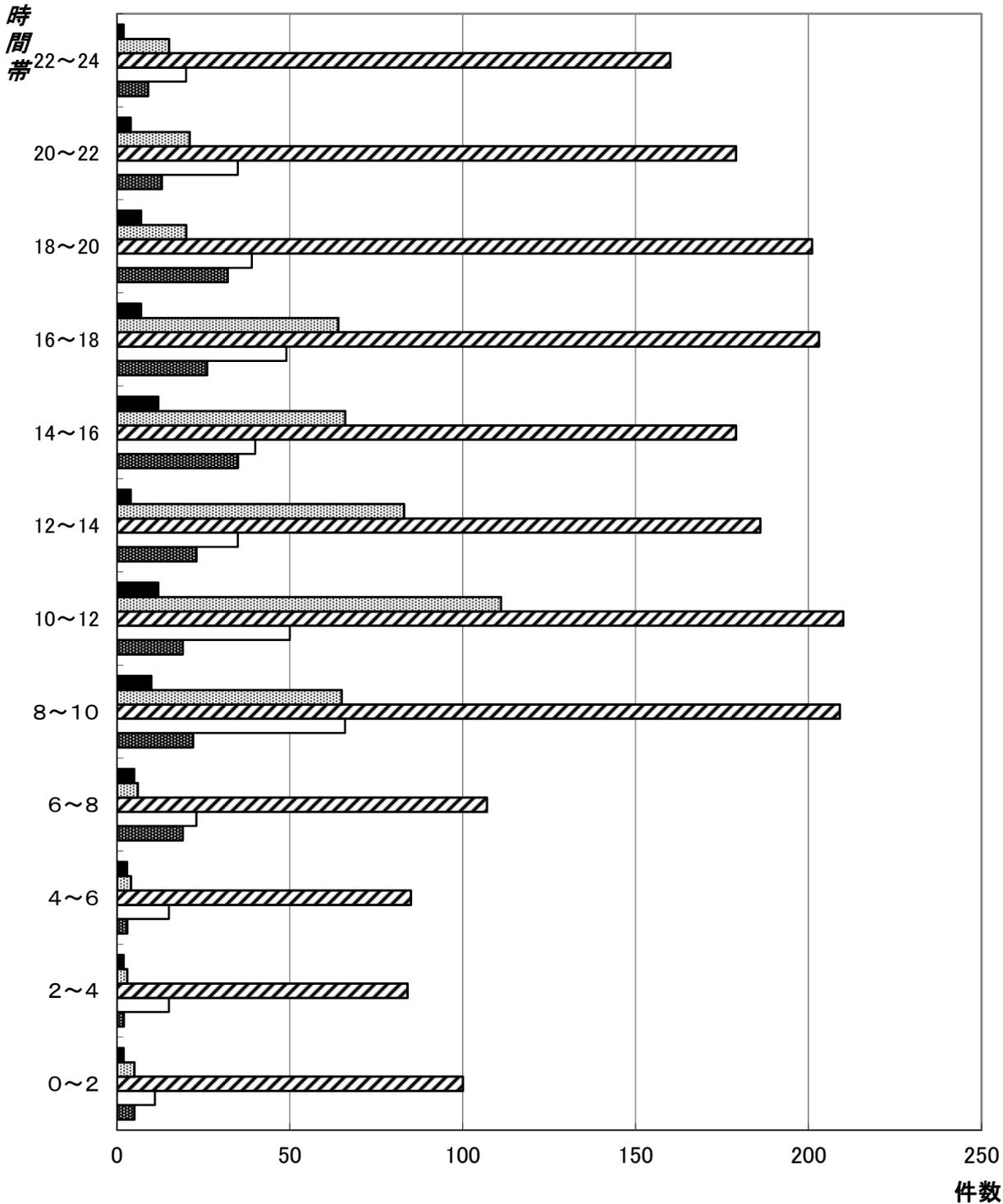
## 曜日別出場件数



事故種別	月	火	水	木	金	土	日
交通事故	38	24	23	35	30	35	23
一般負傷	64	49	45	58	64	52	66
急病	298	275	282	240	280	247	281
転院搬送	88	70	58	82	79	54	32
その他	5	8	7	12	9	12	17
計	493	426	415	427	462	400	419

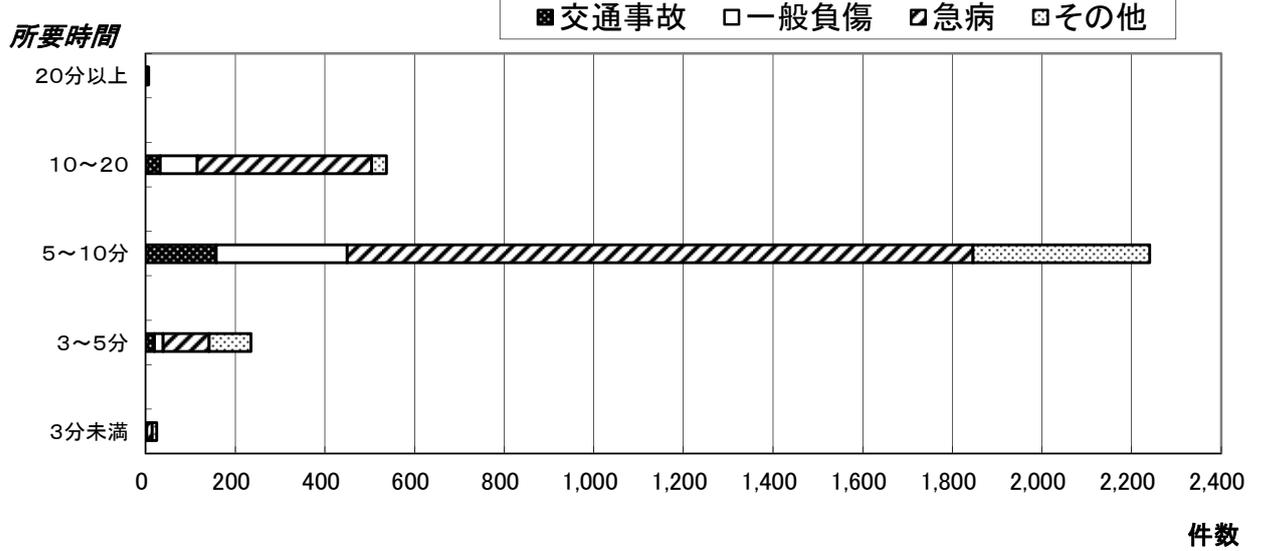
# 時間帯別出場件数

■ その他   ■ 転院搬送   ■ 急病   □ 一般負傷   ■ 交通事故



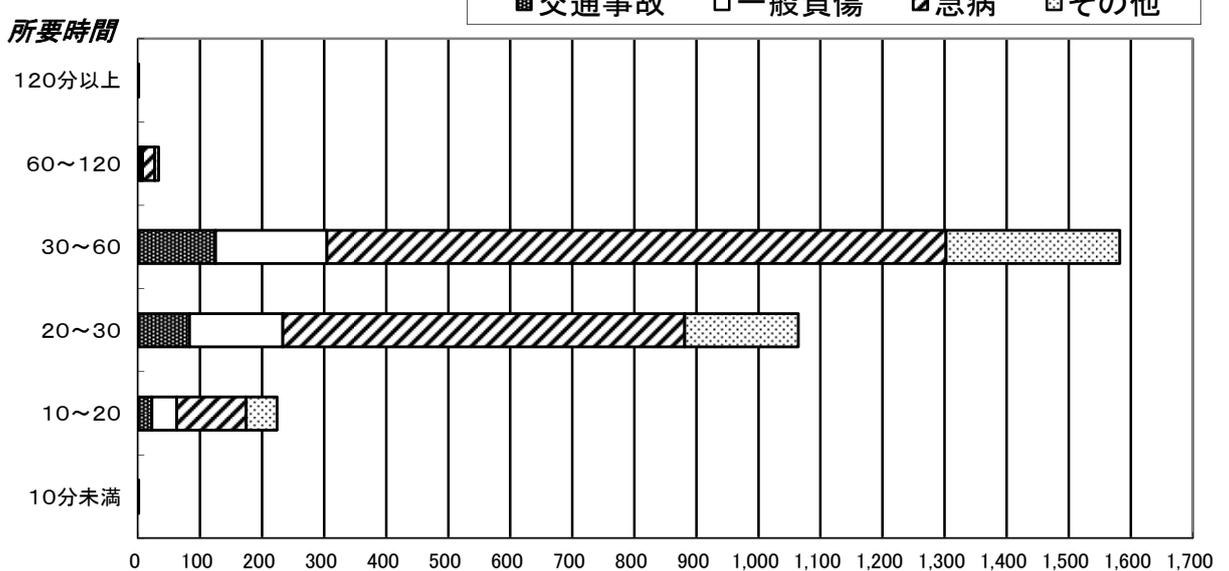
事故種別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
交通事故	5	2	3	19	22	19	23	35	26	32	13	9
一般負傷	11	15	15	23	66	50	35	40	49	39	35	20
急病	100	84	85	107	209	210	186	179	203	201	179	160
転院搬送	5	3	4	6	65	111	83	66	64	20	21	15
その他	2	2	3	5	10	12	4	12	7	7	4	2
計	123	106	110	160	372	402	331	332	349	299	252	206

## 現場到着所要時間別出場件数



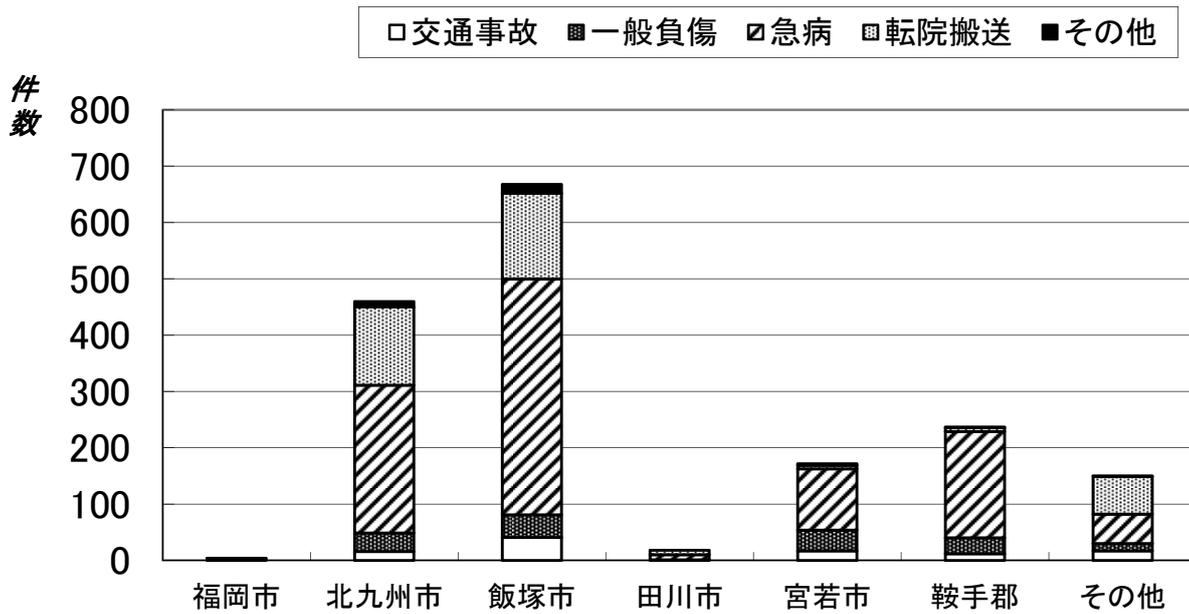
事故種別	3分未満	3~5分	5~10分	10~20	20分以上
交通事故	0	19	157	32	0
一般負傷	2	20	292	83	1
急病	12	102	1,397	389	3
その他	10	94	394	33	2
計	24	235	2,240	537	6

## 収容所要時間別搬送人員



事故種別	10分未満	10~20	20~30	30~60	60~120	120分以上
交通事故	0	22	83	125	4	0
一般負傷	1	40	150	179	3	0
急病	0	112	648	998	20	1
その他	0	50	183	280	6	0
計	1	224	1,064	1,582	33	1

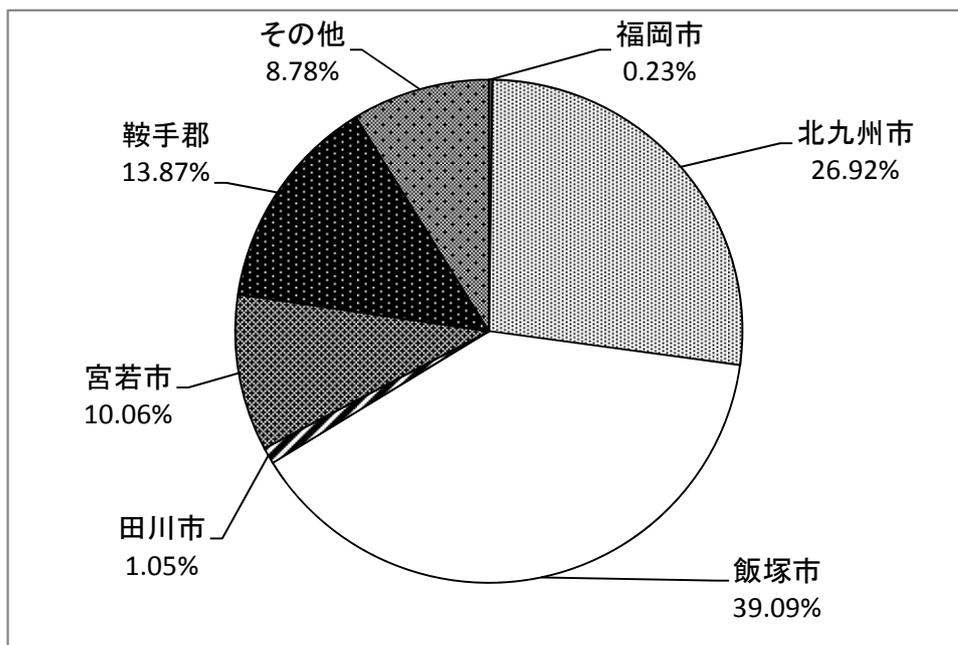
## 管外搬送件数



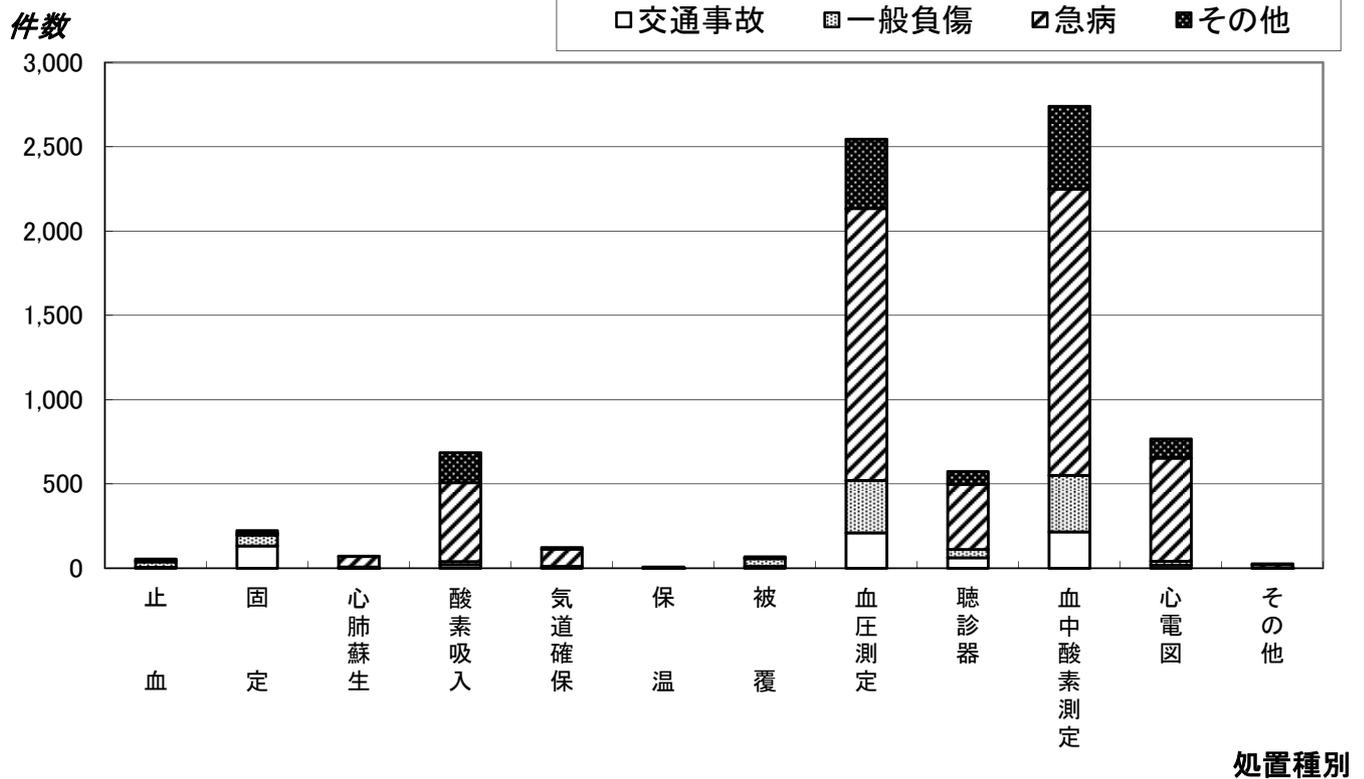
管外別

事故種別	福岡市	北九州市	飯塚市	田川市	宮若市	鞍手郡	その他	計
交通事故	0	16	41	1	17	12	17	104
一般負傷	0	33	40	0	37	28	13	151
急病	0	262	419	9	109	189	52	1,040
転院搬送	4	139	152	8	6	7	67	383
その他	0	10	16	0	3	1	1	31
計	4	460	668	18	172	237	150	1,709

## 構成比



## 救急隊員の行った応急処置件数

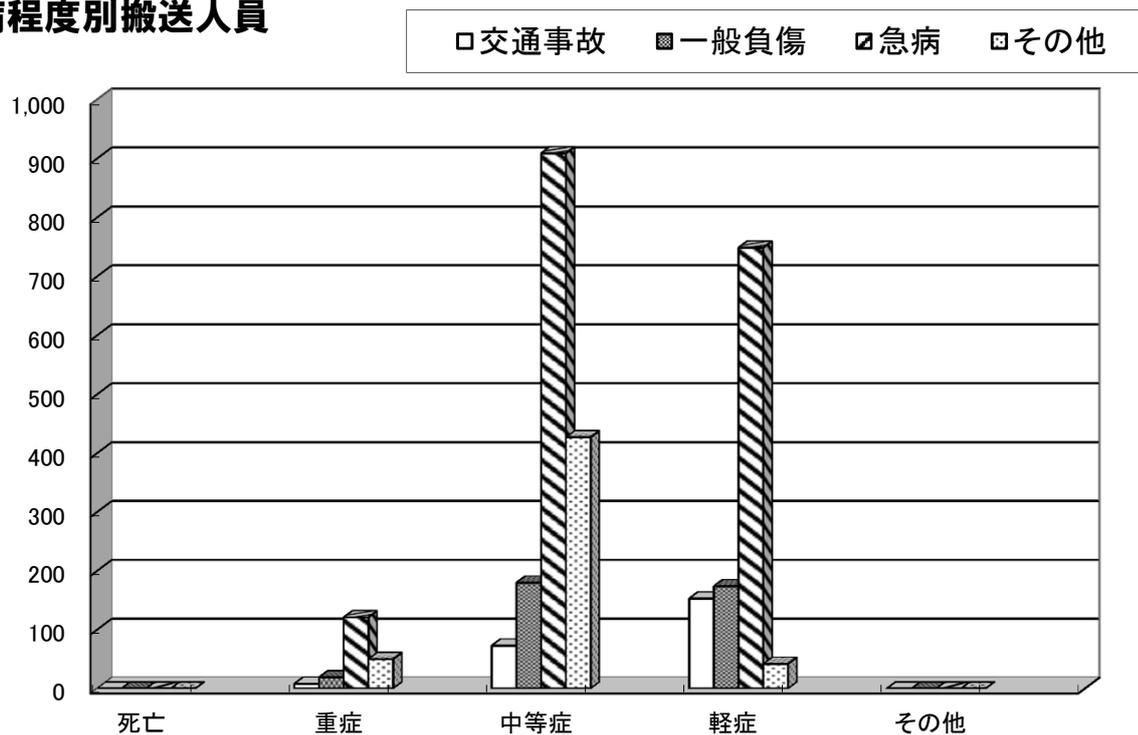


事故種別	止血	固定	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	血圧測定	聴診器	血中酸素測定	心電図	その他	計
交通事故	6	132	2	20	5	2	12	210	62	216	18	0	685
一般負傷	31	65	6	20	7	1	44	311	49	334	24	2	894
急病	10	11	62	467	101	2	4	1,613	386	1,700	612	18	4,986
その他	7	15	2	179	10	3	8	412	77	491	112	6	1,322
計	54	223	72	686	123	8	68	2,546	574	2,741	766	26	7,887

## 救急救命士による救命処置

事故種別	交通事故	一般負傷	急病	その他	計
器具を使用した気道確保	0	0	3	1	4
除細動	0	1	8	0	9
静脈路確保	0	0	5	0	5
薬剤投与	0	0	3	0	3

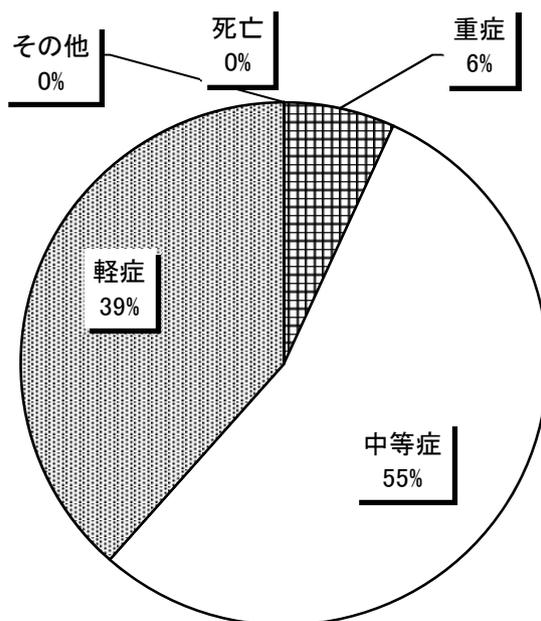
## 傷病程度別搬送人員



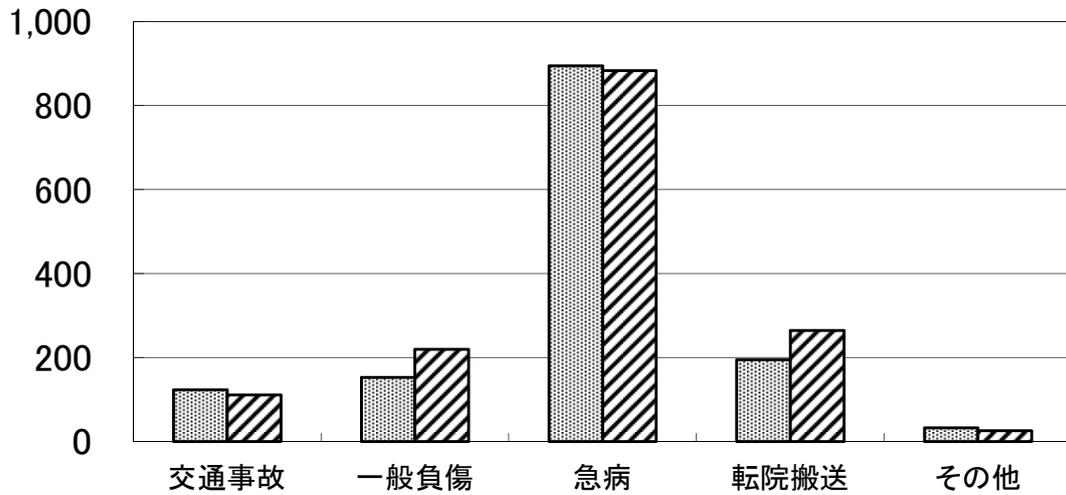
### 傷病程度

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他
交通事故	0	8	73	153	0
一般負傷	0	19	180	174	0
急病	0	121	909	749	0
その他	0	50	427	42	0
計	0	198	1,589	1,118	0

### 構成比

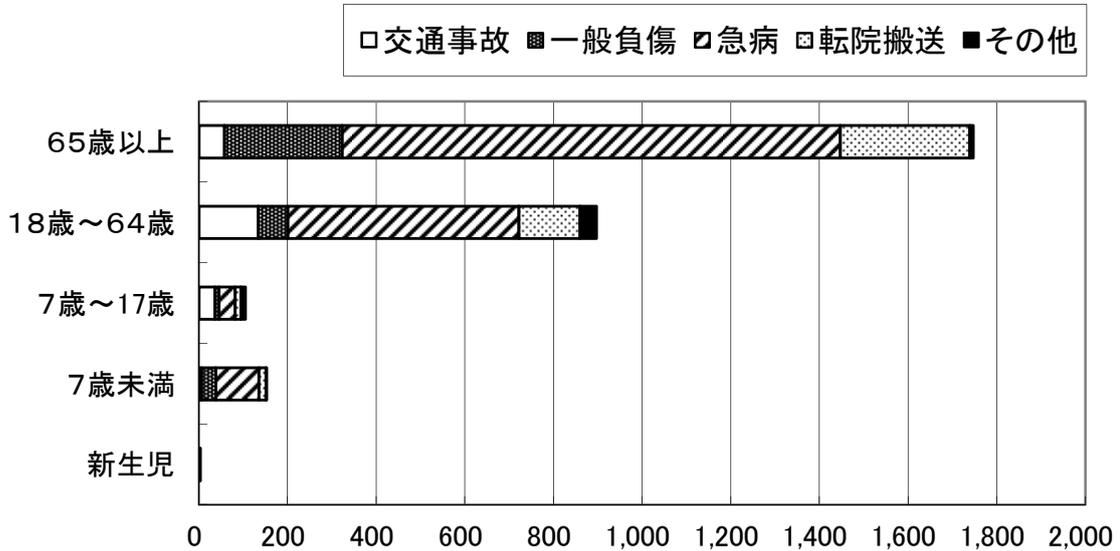


## 性別搬送人員



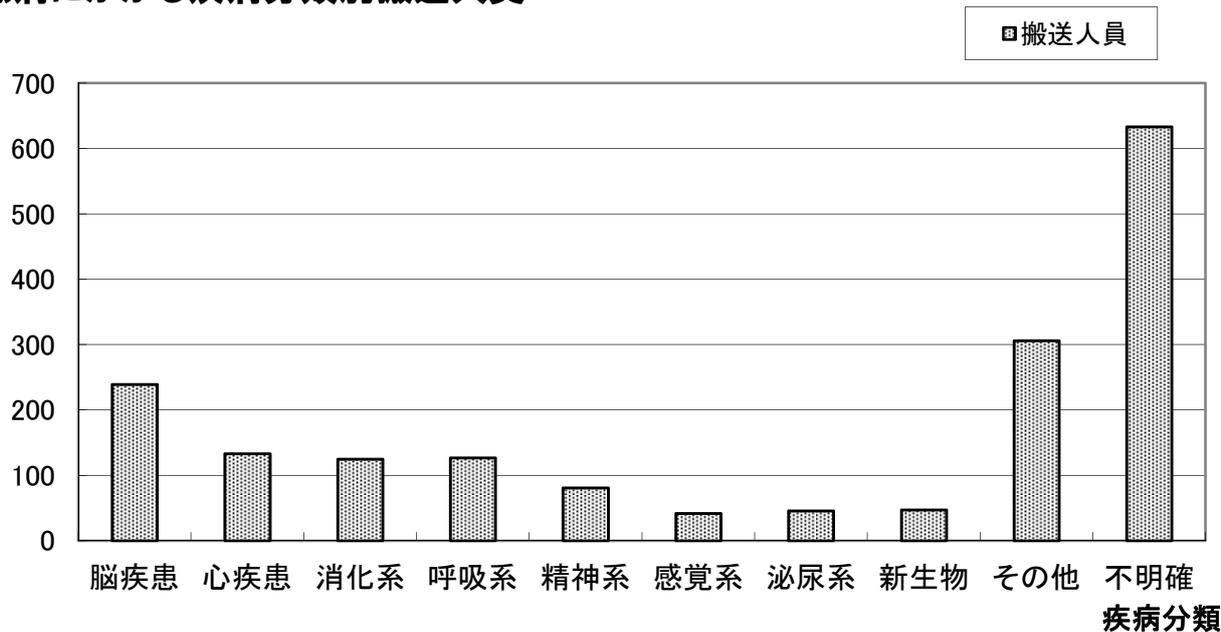
事故種別	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他	計
男性	123	153	895	195	33	1,399
女性	111	220	884	265	26	1,506

## 年齢区分別搬送人員



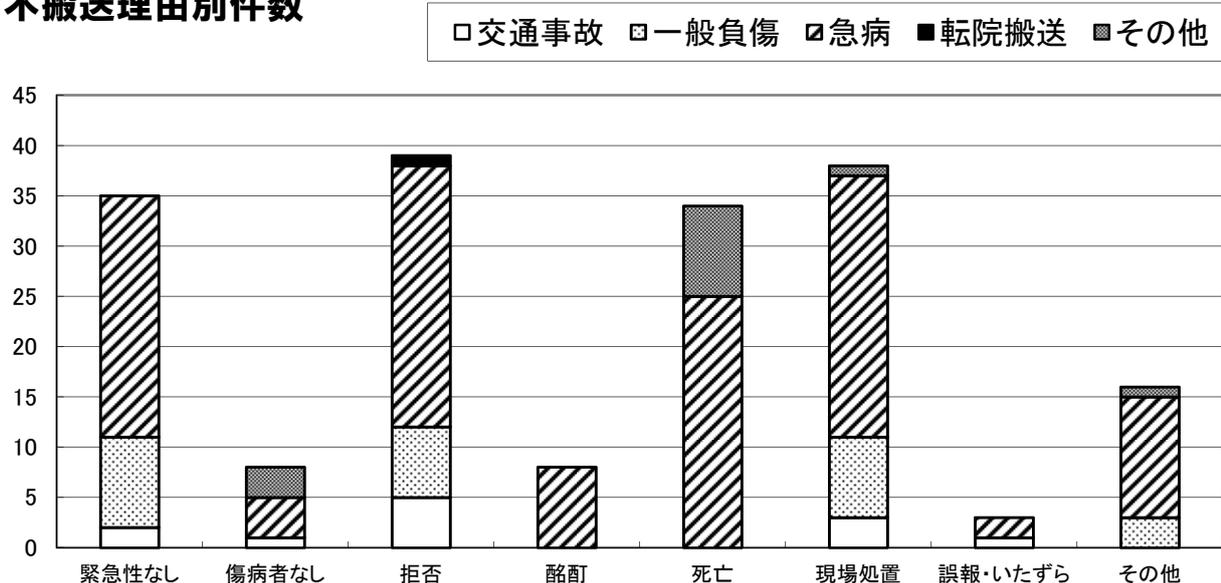
事故種別	新生児	7歳未満	7歳～17歳	18歳～64歳	65歳以上	計
交通事故	0	6	36	134	58	234
一般負傷	0	32	9	67	265	373
急病	0	97	37	521	1,124	1,779
転院搬送	1	16	13	138	292	460
その他	2	2	10	37	8	59
計	3	153	105	897	1,747	2,905

## 急病にかかる疾病分類別搬送人員



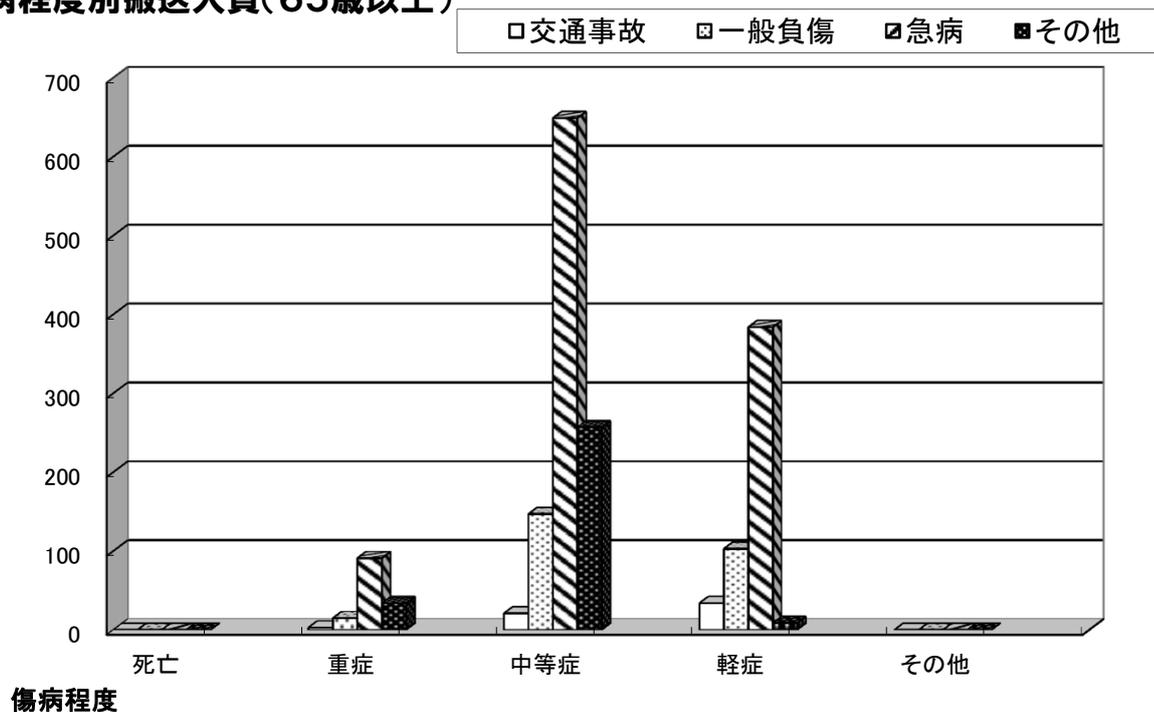
区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
搬送人員	239	133	125	127	81	42	46	47	306	633	1,779

## 不搬送理由別件数



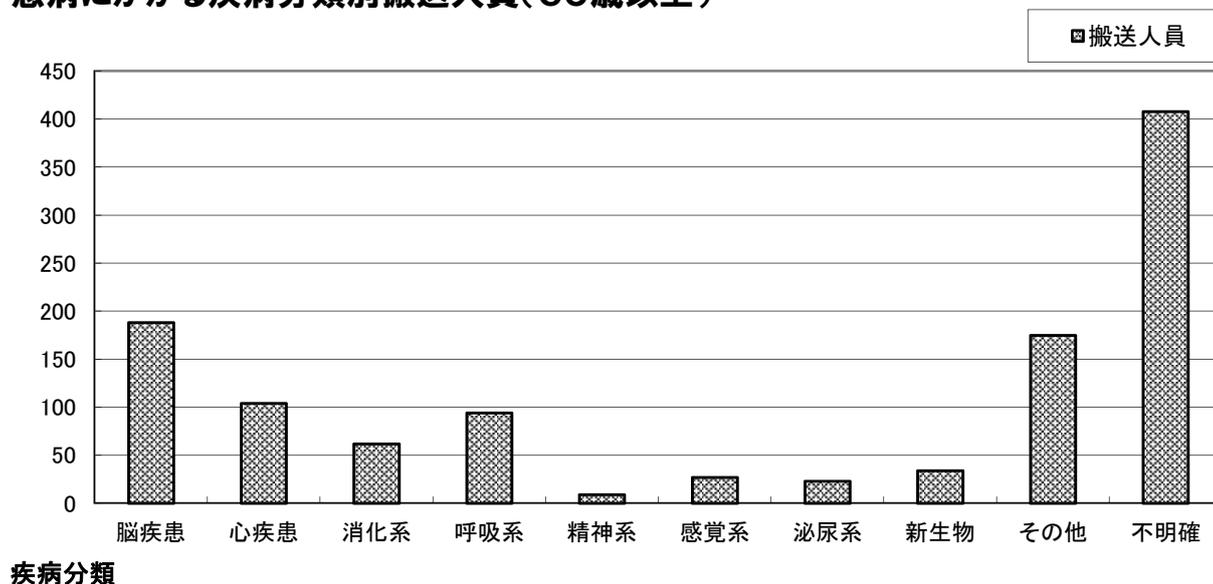
事故種別	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	現場処置	誤報・いたずら	その他	計
交通事故	2	1	5	0	0	3	1	0	12
一般負傷	9	0	7	0	0	8	0	3	27
急病	24	4	26	8	25	26	2	12	127
転院搬送	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	3	0	0	9	1	0	1	14
<b>計</b>	<b>35</b>	<b>8</b>	<b>39</b>	<b>8</b>	<b>34</b>	<b>38</b>	<b>3</b>	<b>16</b>	<b>181</b>

### 傷病程度別搬送人員(65歳以上)



事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
交通事故	0	3	21	34	0	58
一般負傷	0	15	147	103	0	265
急病	0	91	649	384	0	1,124
その他	0	34	257	9	0	300
計	0	143	1,074	530	0	1,747

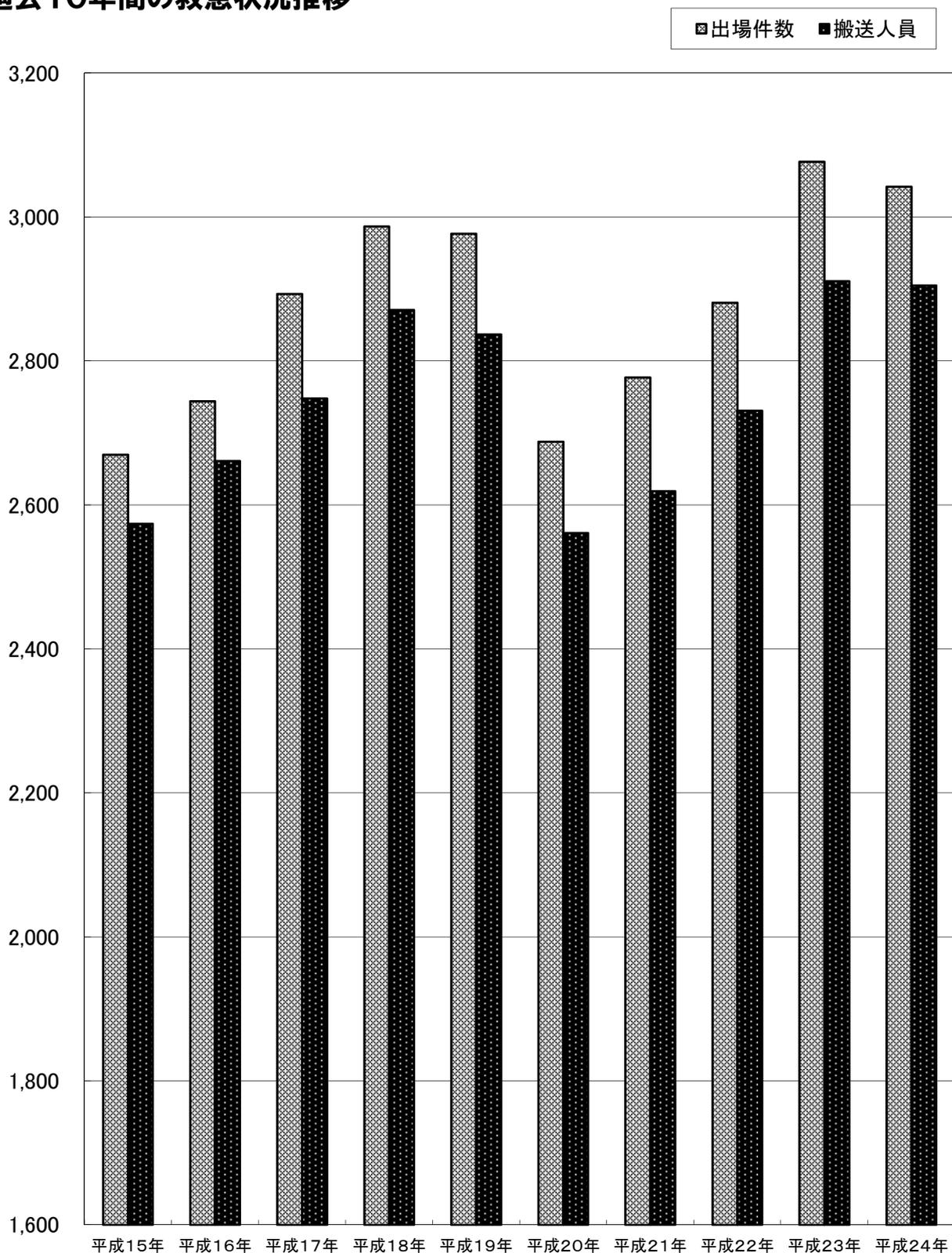
### 急病にかかる疾病分類別搬送人員(65歳以上)



区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
搬送人員	188	104	62	94	9	27	23	34	175	408	1,124

本市における65歳以上の人口は16,331人(平成24年12月末現在)で全人口の27.8%を占める。搬送人員2,905人のうち65歳以上の高齢者は、1,747人(60.1%)で、前年1,656人と比べ91人(5.2%)増加している。

## 過去10年間の救急状況推移



年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出場件数	2,670	2,744	2,893	2,987	2,977	2,688	2,777	2,881	3,077	3,042
搬送人員	2,574	2,661	2,748	2,871	2,837	2,561	2,619	2,731	2,911	2,905

# 救助編



## 救助概況

### 1 救助出動状況

平成24年中における出動件数は18件であり、前年より2件増加している。

事故種別は、交通事故10件(前年に比べ1件増加)、水難事故3件(前年に比べ3件増加)、機械事故1件(前年に比べ1件増加)、その他3件(前年に比べ4件減少)となっている。

救助人員は22人で、傷病程度は、死亡4人、重症2人、中等症6人、軽症10人で、入院加療を必要とする負傷者は前年に比べ3人増加している。

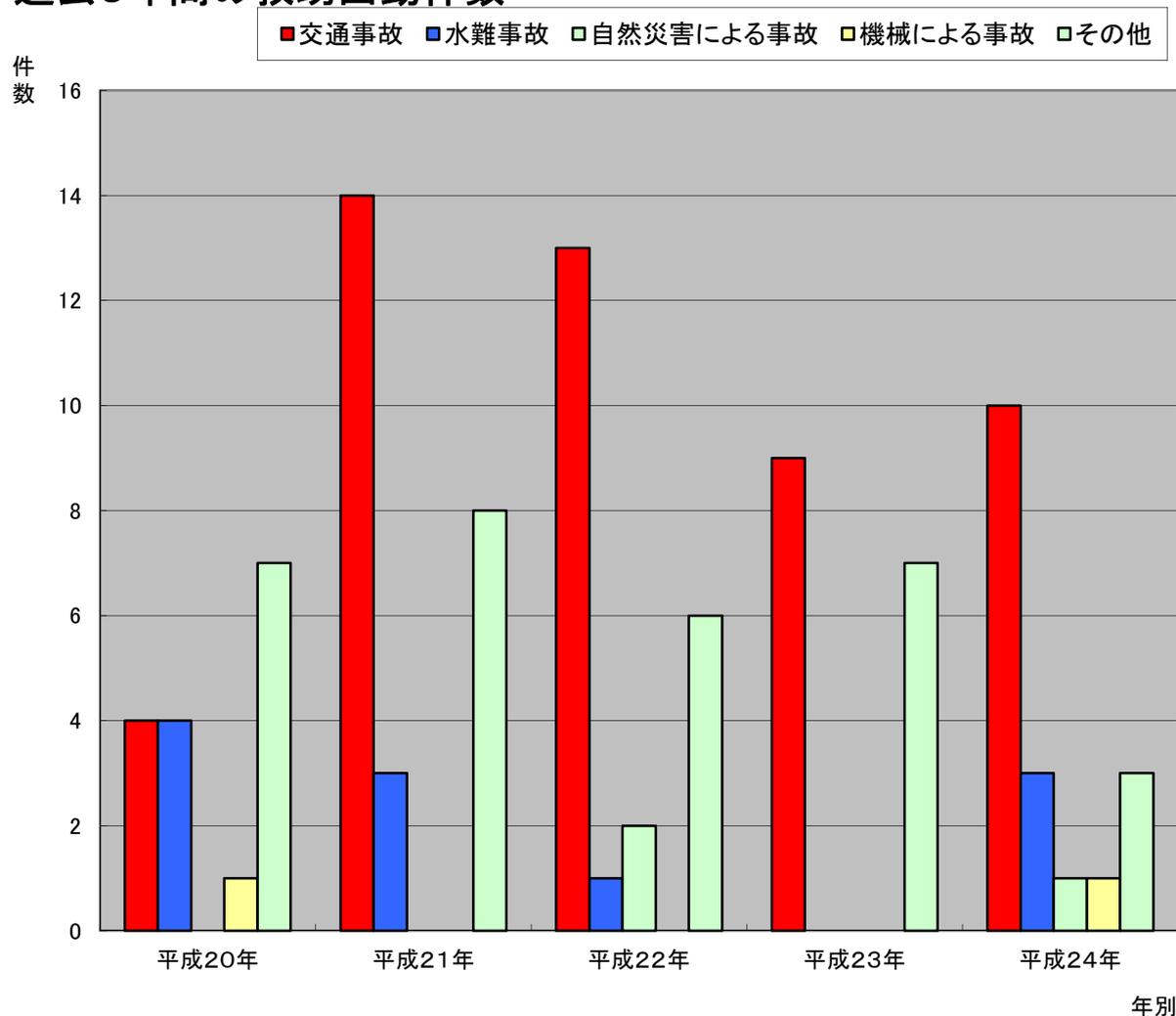
## 救助隊設置状況

救助隊数	救助隊員数		救助隊が使用する車両
救助隊1隊	1部	9人	救助工作車（日野 ADG-GX7JGWA）
	2部	8人	
	17人		

## 救助活動状況

区分		事故種別					計
		交通事故	水難事故	自然事故	機械事故	その他	
救助出場件数(件)		10	3	1	1	3	18
救助活動件数(件)		8	2	0	1	2	13
救助人員		10	2	0	1	2	15
出動人員	消防隊員	0	0	0	0	0	0
	救助隊員	38	12	4	4	11	69
	救急隊員	40	6	3	3	6	58
	その他	1	5	0	0	0	6
	計	79	23	7	7	17	133
出動車両	救助工作車	10	1	1	1	3	16
	救急車	14	2	1	1	2	20
	タンク車	1	0	0	0	0	1
	その他の車両	1	7	0	0	0	8
	計	26	10	2	2	5	45

## 過去5年間の救助出動件数



事故種別 \ 年別	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
火災	0	0	0	0	0
交通事故	4	14	13	9	10
水難事故	4	3	1	0	3
自然災害による事故	0	0	2	0	1
機械による事故	1	0	0	0	1
建物等による事故	0	1	1	0	0
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0
爆発事故	0	0	0	0	0
その他	7	7	5	7	3
計	16	25	22	16	18